

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 戸建住宅専用商品です。マンション等の高頻度に開閉する場所への設置はできません。
- 崖上や風の通り道等の強風地域および豪雪地域への施工は避けてください。
- 製品の作動範囲に障害物が無いか確認してください。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
・推奨締付けトルク：2.5N・m ± 0.5N・m (25 ± 5kgf・cm)
- ガラススクリーンの組立てには、ガラスリフター（吸盤）が2つ必要です。
ガラスリフターを使用しない場合、ガラスの破損やケガをするおそれがあります。（ガラス1枚あたりの重量は約20kgです。）

**ポイント**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工場所の寸法に製品が正しく納まるか確認してください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆりみがないか確認してください。

🔑 ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事についてのご注意>

⚠ 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

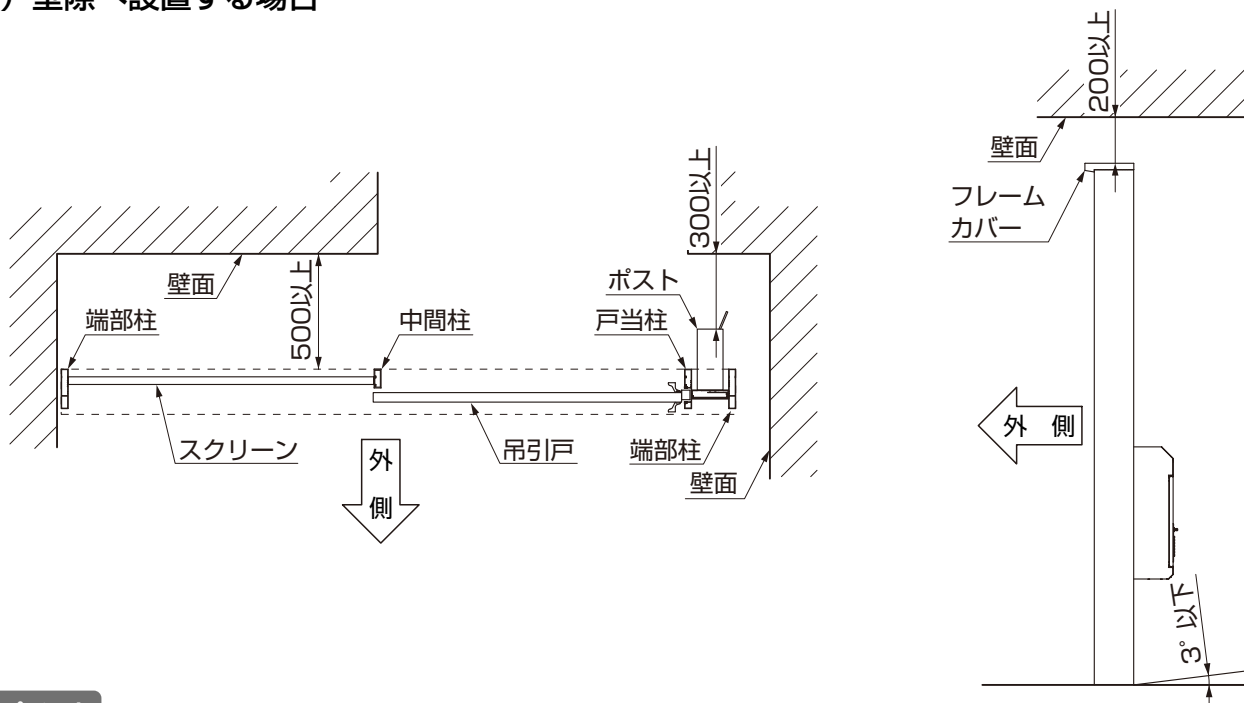
🔑 ポイント

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 柱・フレームの施工寸法に狂いが生じていないか、確認してから養生してください。
指定寸法から外れると以下の不具合が発生するおそれがあります。
 - ・パネルの吊下げができなくなります。
 - ・施錠ができなくなります。
 - ・施工後、正常な開閉ができなくなります。

1. 施工前の重要確認事項

1-1 施工条件

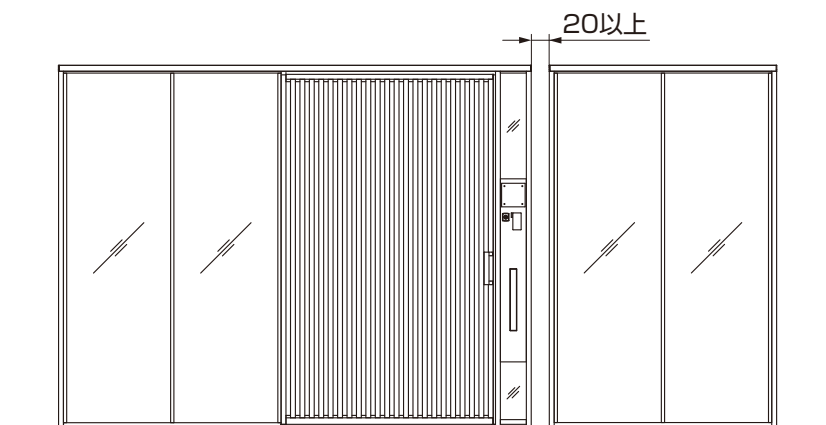
(1) 壁際へ設置する場合



ポイント

- 柱の背面は壁面から500mm以上離して施工してください。柱と壁面の間隔が狭いと、柱の背面側からの施工ができなくなります。
- ポストの背面は壁面から300mm以上離して施工してください。ポストと壁面の間隔が狭いと投函物が取出せなくなるおそれがあります。
- フレームカバーの上部は壁面から200mm以上離して施工してください。フレームカバーと壁面の間隔が狭いとフレームカバーの取付が出来なくなります。
- 柱の背面側にこう配をつける場合は、3°以下にしてください。こう配が大きくなるとガラススクリーンや縦板張スクリーンの取付けができなくなります。

(2) スクリーン単独などを隣接して設置する場合

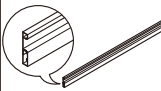
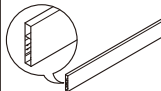
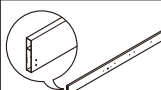
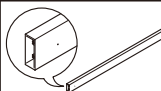


ポイント

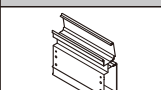
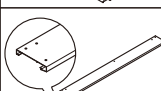
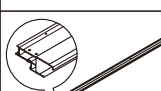
- スクリーン単独などを隣接して設置する場合は、端部柱同士の間隔を20mm以上離してください。端部柱同士の間隔が狭いとフレームカバー端部キャップの取付が出来なくなります。

2.梱包明細表

【1】 柱

名 称	略 図	員 数	
		右 ファンクション用	左 ファンクション用
戸当柱		1	1
端部柱		1	1
端部柱（ポスト側）		1	1
中間柱		1	1

【2】 フレーム

名 称	略 図	員 数	
		右 ファンクション用	左 ファンクション用
ガラス枠（上）		1	
フレームカバー		1	
レールカバー		1	
間口カバー		1	
上レール		1	1

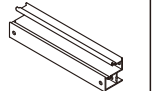
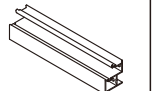
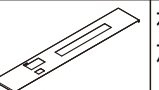
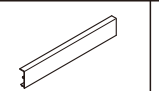
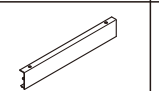
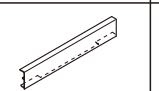
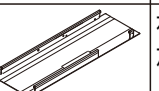
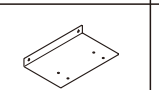
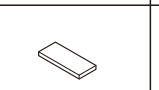
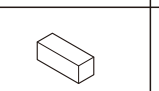
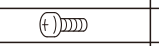
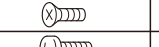
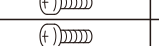
【3】 吊引戸本体 縦格子

名 称	略 図	員 数	
		右 ファンクション用	左 ファンクション用
吊引戸 縦格子		1	1

【4】 吊引戸本体 縦板張

名 称	略 図	員 数	
		右 ファンクション用	左 ファンクション用
吊引戸 縦板張		1	1

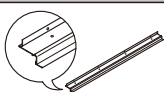
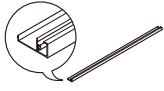
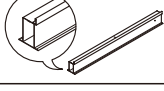
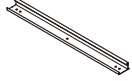
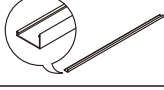
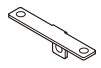
【5】 ファンクションパネル

名 称	略 図	員 数	
		インターホン 内蔵	インターホン 面付
Fガラス枠-1		2	
Fガラス枠-3		2	
ファンクションパネル		右ファンクション用または 左ファンクション用 1	
Fガラス枠カバー		2	
Fガラス枠カバー（パネル受）		1	
Fガラス枠カバー（下）		1	
センターブロックベース		右ファンクション用または 左ファンクション用 1	
インターホン子機取付金具A		1	—
セッティングブロック (t=2)		4	—
セッティングブロック (t=10)		2	—
【5-1】 M4×8ナベ小ネジ		2	—
【5-2】 M4×8サラ小ネジ		2	—
【5-3】 M4×12ナベ小ネジ		2	—
【5-4】 M4×18ナベ小ネジ		2	—
【5-5】 M4×6ナベ小ネジ		2	—

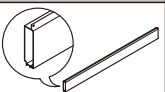
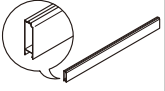
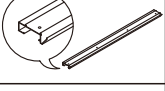
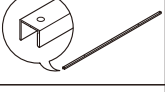
【6】 ガラスパネル

名 称	略 図	員 数
ガラススクリーン		1

【7】 ガラスパネル枠材

名 称	略 図	員 数
下枠		1
縦枠		2
上枠		1
上下枠押さえ		4
中間受け		1
縦枠カバー		2
上下枠押さえカバー		4
中間押さえ		1
中間受けカバー		1
セッティングブロック (t=2)		4
下枠取付金具		2
中間受け下部取付金具		1
中間受け上部取付金具		1
【7-1】 φ4×16トラスタッピンネジ3種		2
【7-2】 φ4×13ナベドリルネジ		34
【7-3】 φ4×10トラスタッピンネジ2種		9

【8】 縦板張材（端部用）

名 称	略 図	員 数
縦張材（端部側）		1
縦張材（中間柱側）		1
縦張材ホルダー		1
縦張材受け		1
後付けビード		1
縦張材-中間柱取付金具		1
【8-1】 φ4×13ナベドリルネジ		13
【8-2】 φ4×50ナベタッピンネジ2種		2
【8-3】 φ4×10トラスタッピンネジ2種		10

【9】 縦板張材（中間用）

名 称	略 図	員 数
縦張板		9

【10】 ファンクション用ガラス

名 称	略 図	員 数
ファンクション用強化ガラス		上下各1

2. (つづき)

【11】 部品セット

名 称	略 図	員 数
ファンクション 補強材		3
ガラス枠（下） 取付金具A		2
ガラス枠（下） 取付金具B		2
ガラス枠端部塞ぎ板A		1
セッティングブロック (t=10)		4
ハンドル（外）		1
ハンドル（内）		1
フレームカバー端部キャップ		左右各1
ポスト取付スペーサーネジ		4
下ガイドローラー		2
下ガイドローラー台座		1
減速部品		2
後付ビード		4
注意シール		1
柱・枠取付金具		3
【11-1】 φ4×8ナベタッピンネジ3種		4
【11-2】 φ4×12トラスタッピンネジ3種		27
【11-3】 φ4×15サラタッピンネジ2種		4
【11-4】 M4×35トラス小ネジ		2
【11-5】 M4×30トラス小ネジ		2
【11-6】 φ4×13ナベドリルネジ		19

【11】 部品セット つづき

名 称	略 図	員 数
【11-7】 M4×8十字穴付き六角ボルト (PW+SW)		4
【11-8】 φ5×50ナベタッピンネジ2種		4
【11-9】 M5×10六角ボルト (PW+SW)		4
【11-10】 フィッシャープラグS6		2
【11-11】 φ4×30ナベタッピンネジ1種		2
【11-12】 M4×12サラ小ネジ		2
取付説明書〈B074〉	—	1
取扱説明書〈UB012〉	—	1

【12】 サイン（ガラスサイン・鋳物サイン）

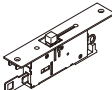
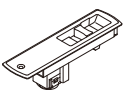
名 称	略 図	員 数		
		ガラスサイン	鋳物サイン	ガラスサイン (特注)
ガラスサイン		1	—	1
鋳物サイン		—	1	—
ネームシール		2 (※)	1	—
【12-1】 化粧ネジM4用		4	—	4
【12-2】 M4×20ナベ (SW+PW)		4	—	4
【12-3】 ゴムスペーサー L=6		4	—	4
【12-4】 M4ゴムワッシャー		4	—	4
【12-5】 φ4×6トラスタッピンネジ3種		—	2	—
【12-6】 M4六角ナット		—	—	—

※黒文字と白文字の2種類同梱しています。

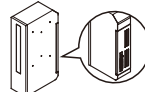
【13】 サイン（江戸硝子サイン・備前焼サイン）

名 称	略 図	員 数	
		江戸硝子サイン (特注)	備前焼サイン (特注)
江戸硝子サイン 150角		1	—
備前焼サイン 145角		—	1
【13-1】 化粧ネジM4用		—	4
【13-2】 化粧ネジM6用		4	—
【13-3】 M6高ナット L=15		4	—
【13-4】 M6ゴムワッシャー		8	—
【13-5】 M4全ネジ L=25		—	4
【13-6】 M6全ネジ L=40		4	—
【13-7】 M4六角ナット		—	4
【13-8】 M6六角ナット		4	—

【14】 プッシュプルPG錠

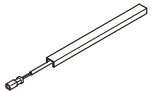
名 称	略 図	員 数
ストライク		1
戸先錠ケース ラッチなし		1
電動戸先内外錠ユニット		1
シリンダー座		1
キー		3
【14-1】 $\phi 4 \times 16$ サラタッピンネジ3種		3
【14-2】 M4ハサミナット		1
【14-3】 M4×16サラ小ネジ (頭塗装)		1

【15】 スリム縦型ポスト

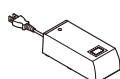
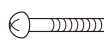
名 称	略 図	員 数	
		プッシュ錠付き	錠なし
ポスト本体 プッシュ錠付き		1	—
ポスト本体 錠なし		—	1
取付説明書〈A460〉	—	1	1
取扱説明書〈UA172〉	—	1	1

【16】 LED照明

※別途トランス電源ユニットW25 (屋外用) が必要です。

名 称	略 図	員 数
LEDユニット		1

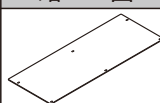
【17】 トランス電源ユニットW25 (屋外用)

名 称	略 図	員 数
トランス電源ユニットW25 (屋外用) 本体		1
【17-1】 $\phi 4.1 \times 38$ 十字穴付きフランジ付き丸木ネジ		2(※)
【17-2】 カールPCプラグ7.5×35		2(※)
取付説明書〈Z453〉	—	1
取扱説明書〈UZ261〉	—	1

※トランス電源ユニットのカバー内に同梱しています。

【18】 指入れ防止パネル

オプション

名 称	略 図	員 数
指入れ防止パネル		1

【19】 取付ネジ

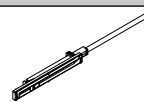
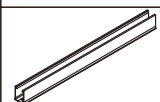
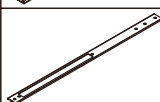
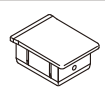
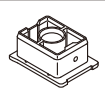
※指入れ防止パネルを取付けるためのネジです。

オプション

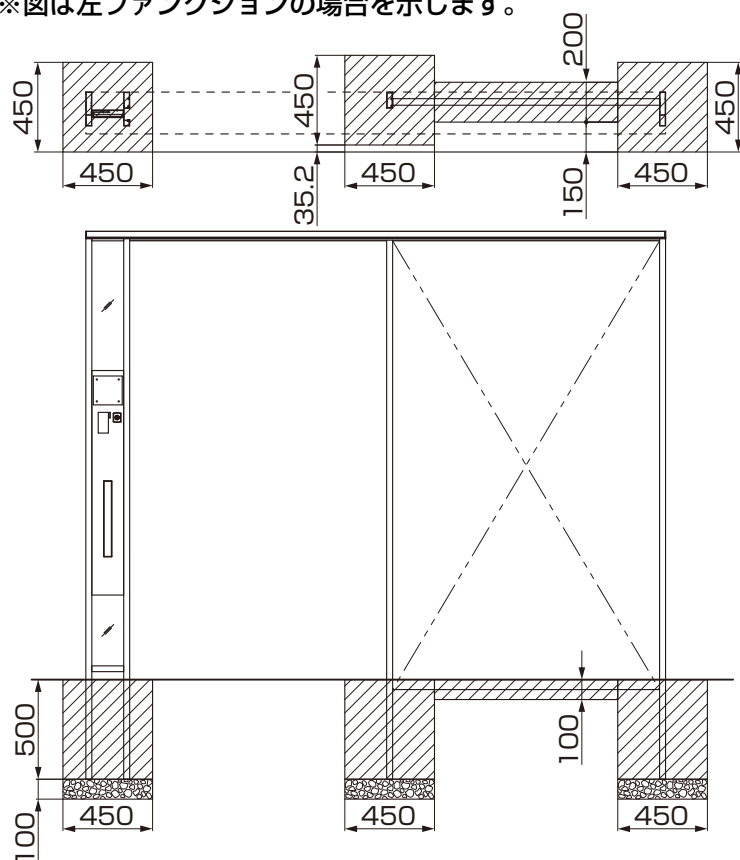
名 称	略 図	員 数
【19-1】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ		50

【20】 落し棒セット

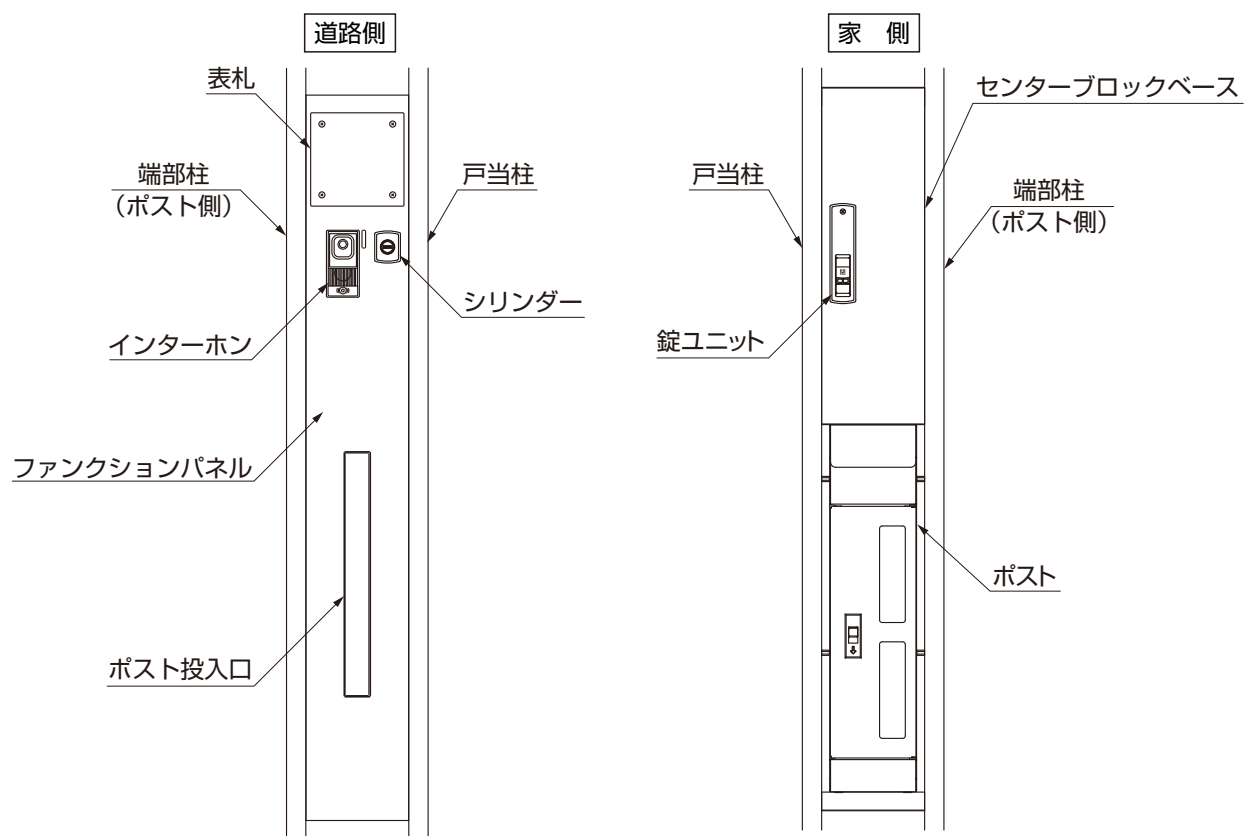
オプション

名 称	略 図	員 数
落し棒		1
落し棒カバー		1
落し棒フロントカバー		1
落し棒ガイド		1
落し棒上キャップ		1
落し棒下キャップ		1
落し棒受け		2
【20-1】 M4ターンナット		4
【20-2】 $\phi 4 \times 20$ トラスタッピンネジ3種		4
【20-3】 $\phi 4 \times 10$ サラタッピンネジ3種		2
【20-4】 $\phi 4 \times 10$ サラタッピンネジ2種		2

3-3 基礎寸法 ※図は左ファンクションの場合を示します。



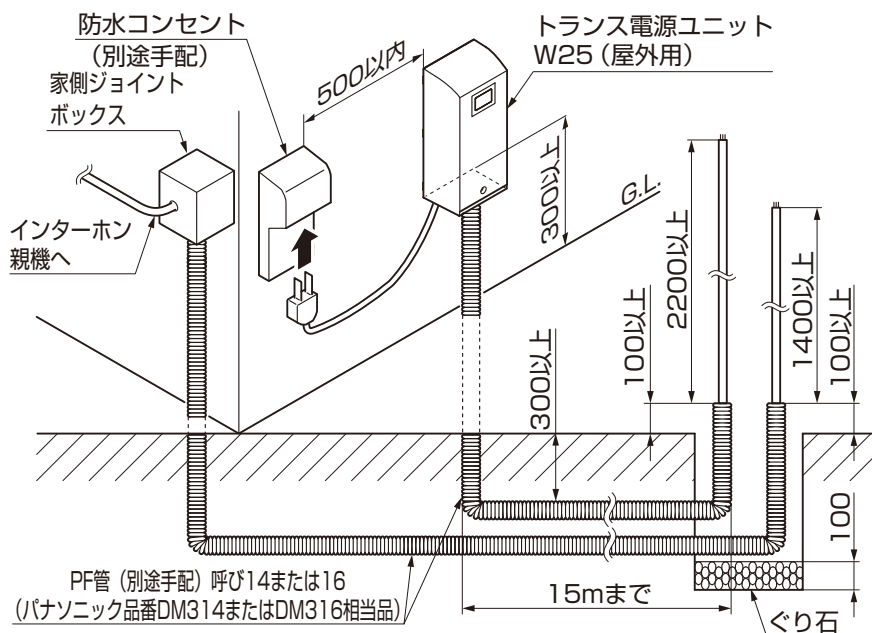
3-4 ファンクション部詳細図 ※図は左ファンクションの場合を示します。



4. 基礎施工前の準備

※これより先の説明の図は、全て右ファンクションの場合を示します。

4-1 配線工事 ※インターホンまたはLED照明を取付ける場合



- ①基礎穴を掘り、基礎下に100mm厚のぐり石を敷いてください。
- ②照明およびインターホン用の配線配管をしてください。

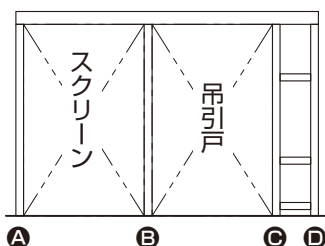
ポイント

- 配管はG.L.より100mm以上立上げ、パテ埋めなどの処理を施してください。
- 照明とインターホン子機用配線は、PF管により隔離してください。
- トランス電源ユニットW25 (屋外用) の取付けは、トランス電源ユニットW25 (屋外用) 内の取付説明書を参照してください。

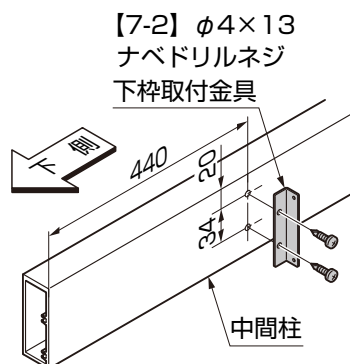
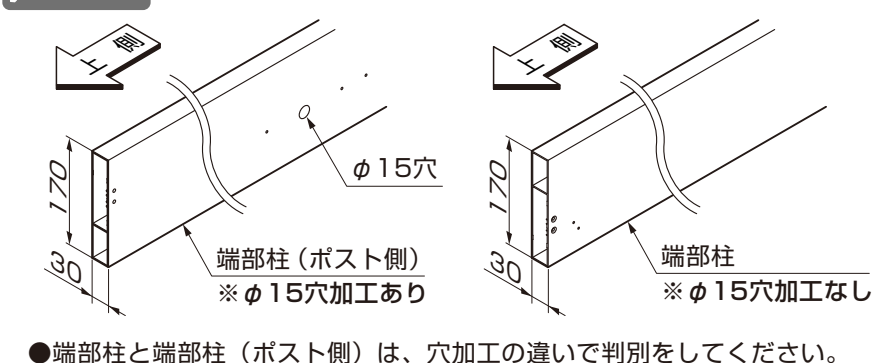
4-2 柱の準備

(1) 中間柱・端部柱への部品の取付け

- A: 端部柱
- B: 中間柱
- C: 戸当柱
- D: 端部柱 (ポスト側)

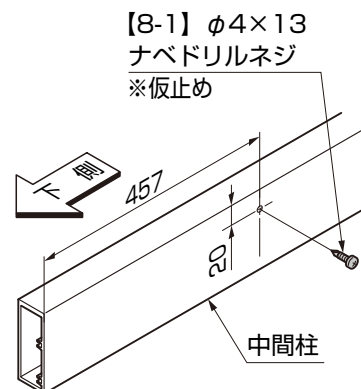
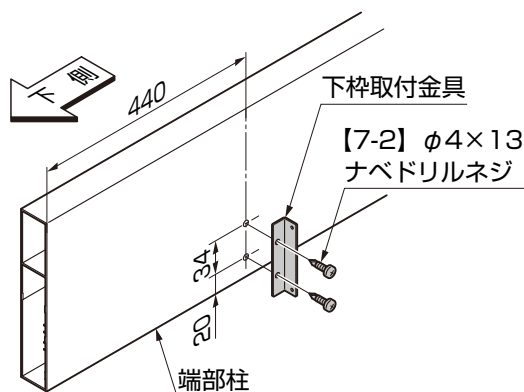


ポイント



●ガラススクリーンの場合

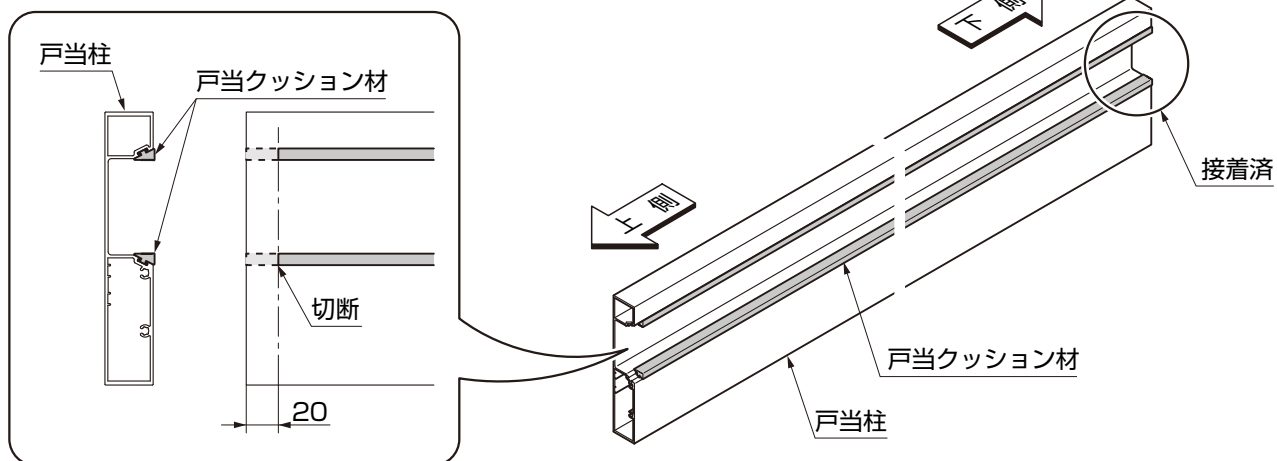
- ①中間柱、端部柱に下枠取付金具を【7-2】で取付けてください。



●縦板張スクリーンの場合

- ①【8-1】を中間柱に仮止めしてください。

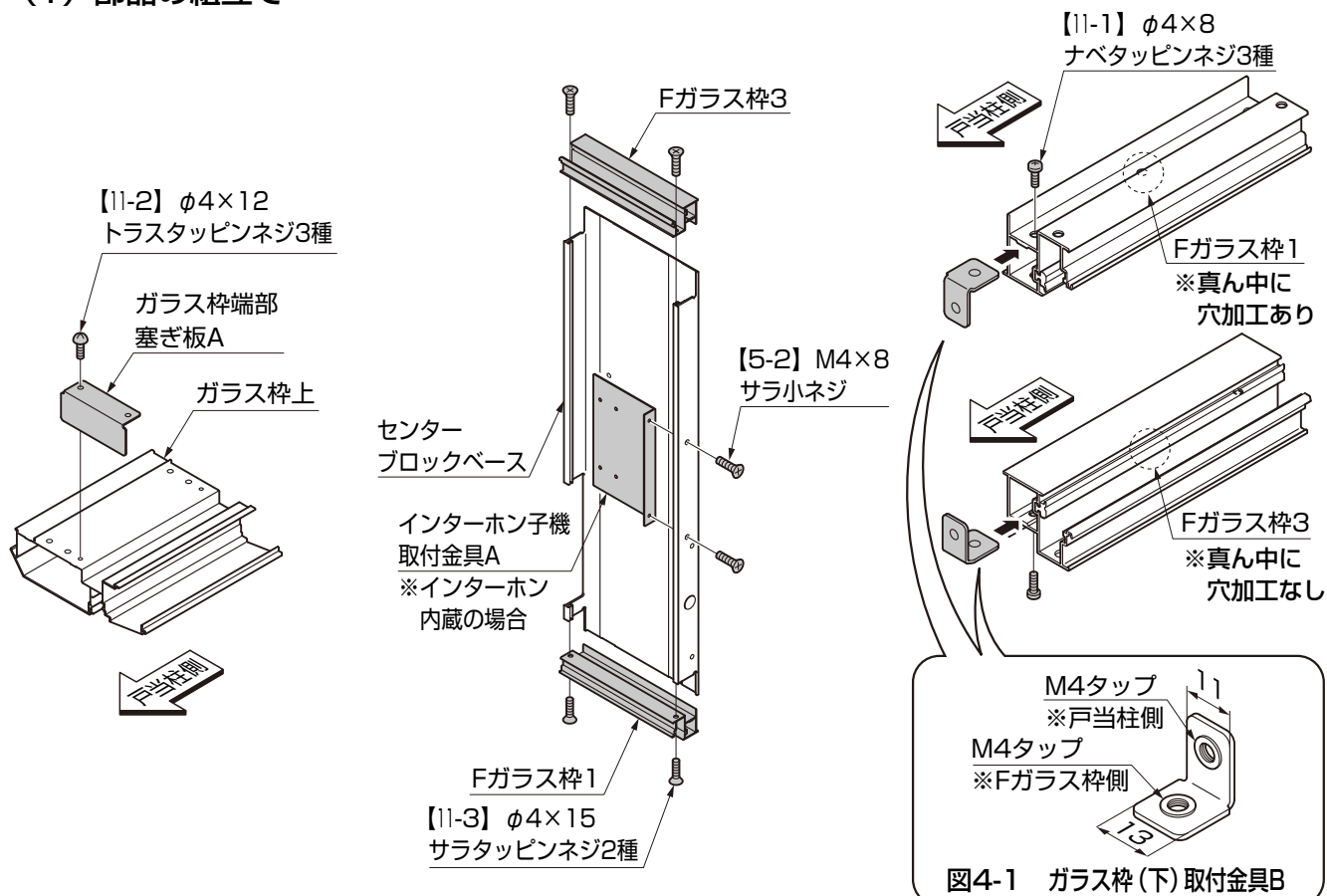
(2) 戸当りクッション材の加工



①戸当クッション材を戸当柱の上端から20mm切断してください。

4-3 ファンクション柱の組立て

(1) 部品の組立て



①ガラス枠端部塞ぎ板Aをガラス枠上に【11-2】で取付けてください。

②インターホン子機取付金具AとFガラス枠1、3をセンターブロックベースに【5-2】、【11-3】で取付けてください。

③ガラス枠(下)取付金具BをFガラス枠1、3に【11-1】で取付けてください。

4. (つづき)

4-3 つづき

(2) 端部柱 (壁付) の組立て

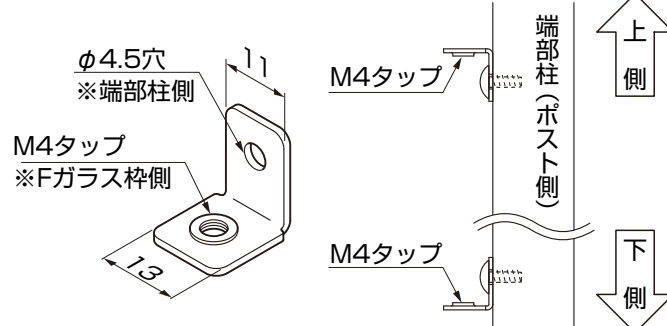
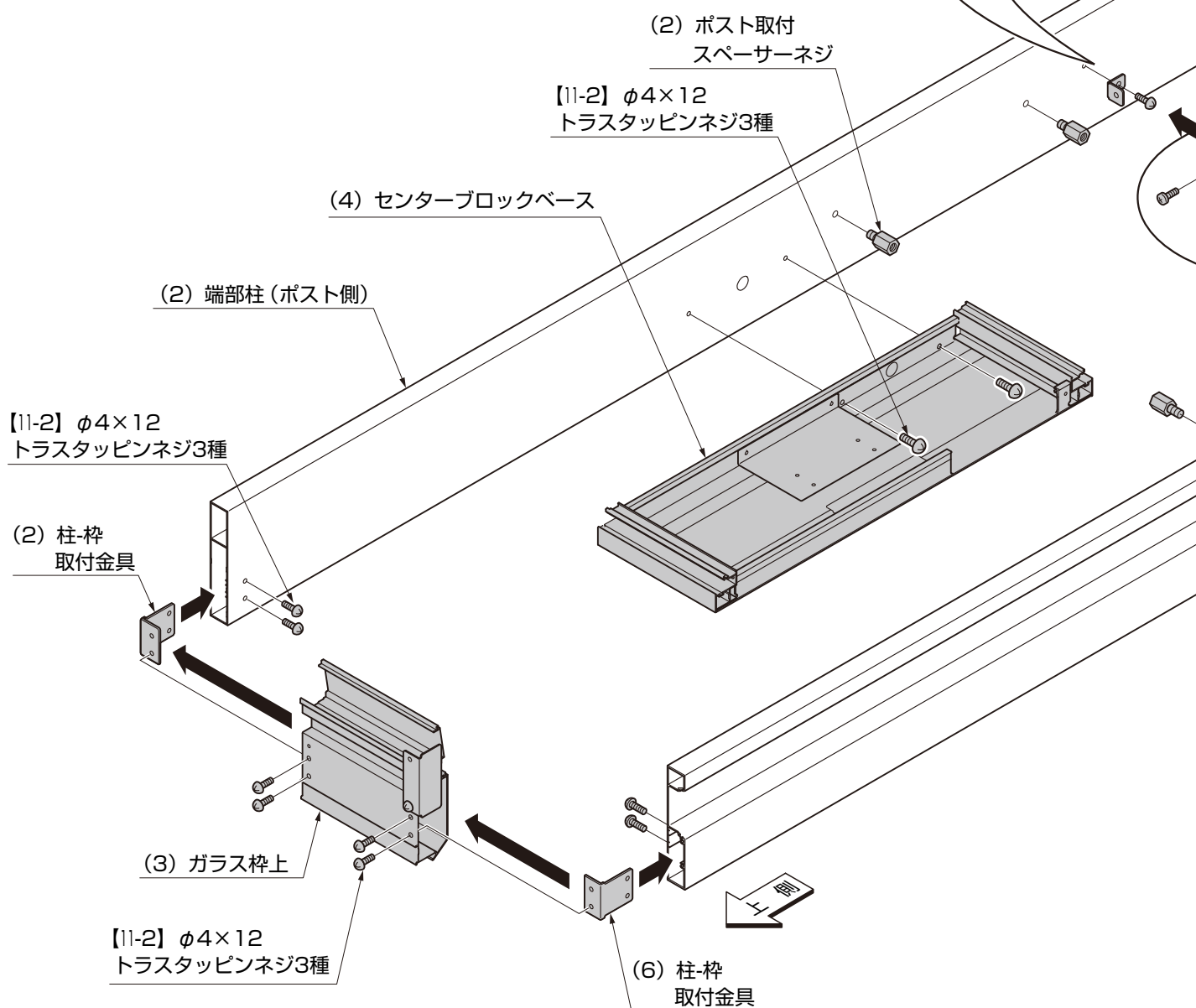
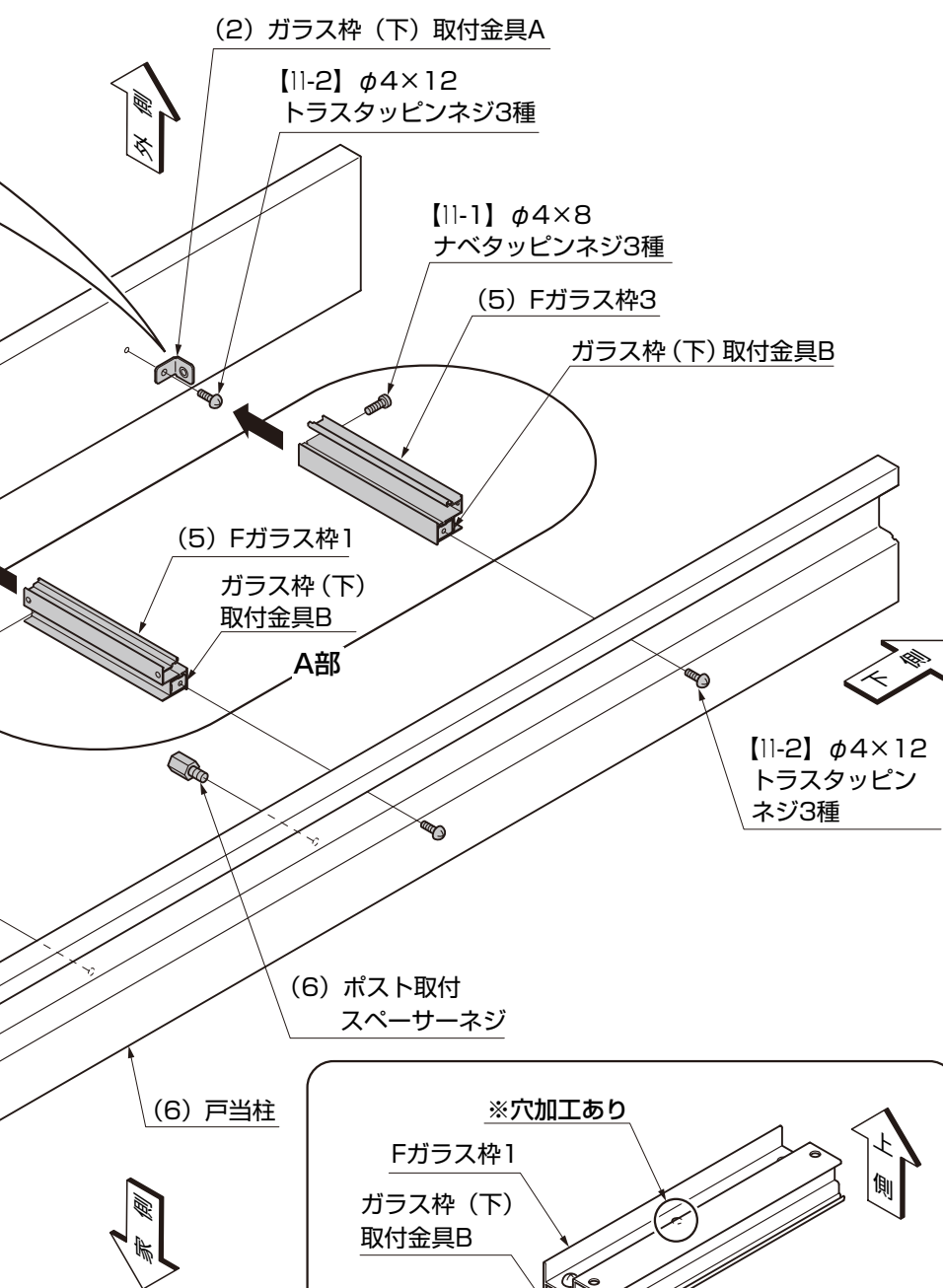


図4-2 ガラス枠 (下) 取付金具A取付の向き





(2) 端部柱（ポスト側）の組立て

- ①ポスト取付スペーサーネジ、柱-枠取付金具、ガラス枠（下）取付金具Aを端部柱（ポスト側）に【11-2】で取付けてください。

ポイント

- ガラス枠（下）取付金具Aの取付けには向きがありますのでご注意ください。（図4-2参照）

(3) ガラス枠上の取付け

- ①ガラス枠上を端部柱（ポスト側）の柱-枠取付金具に【11-2】で取付けてください。

(4) センターブロックベースの取付け

- ①センターブロックベースを端部柱（ポスト側）に【11-2】で取付けてください。

(5) Fガラス枠1、3の取付け

- ①Fガラス枠1、3を端部柱（ポスト側）に【11-1】で取付けてください。

ポイント

- Fガラス枠1、3の取付けには向きがありますのでご注意ください。（図4-3参照）

(6) 戸当柱の取付け

- ①ポスト取付スペーサーネジ、柱-枠取付金具、を戸当柱に【11-2】で取付けてください。
- ②戸当柱をガラス枠上、Fガラス枠1、3に【11-2】で取付けてください。

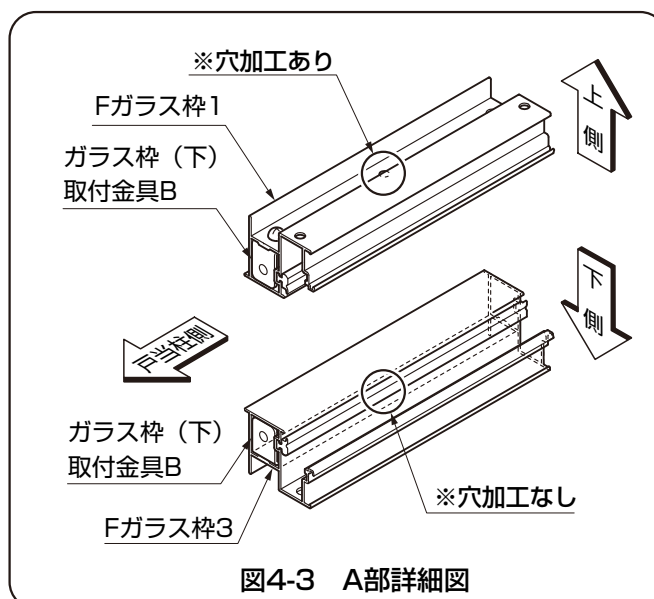
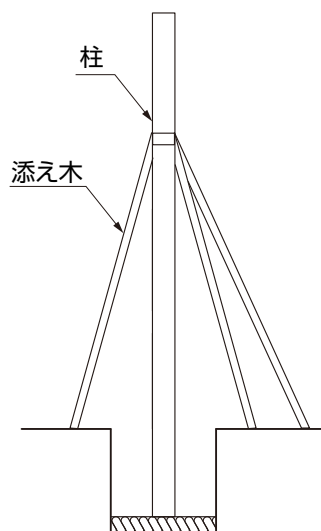


図4-3 A部詳細図

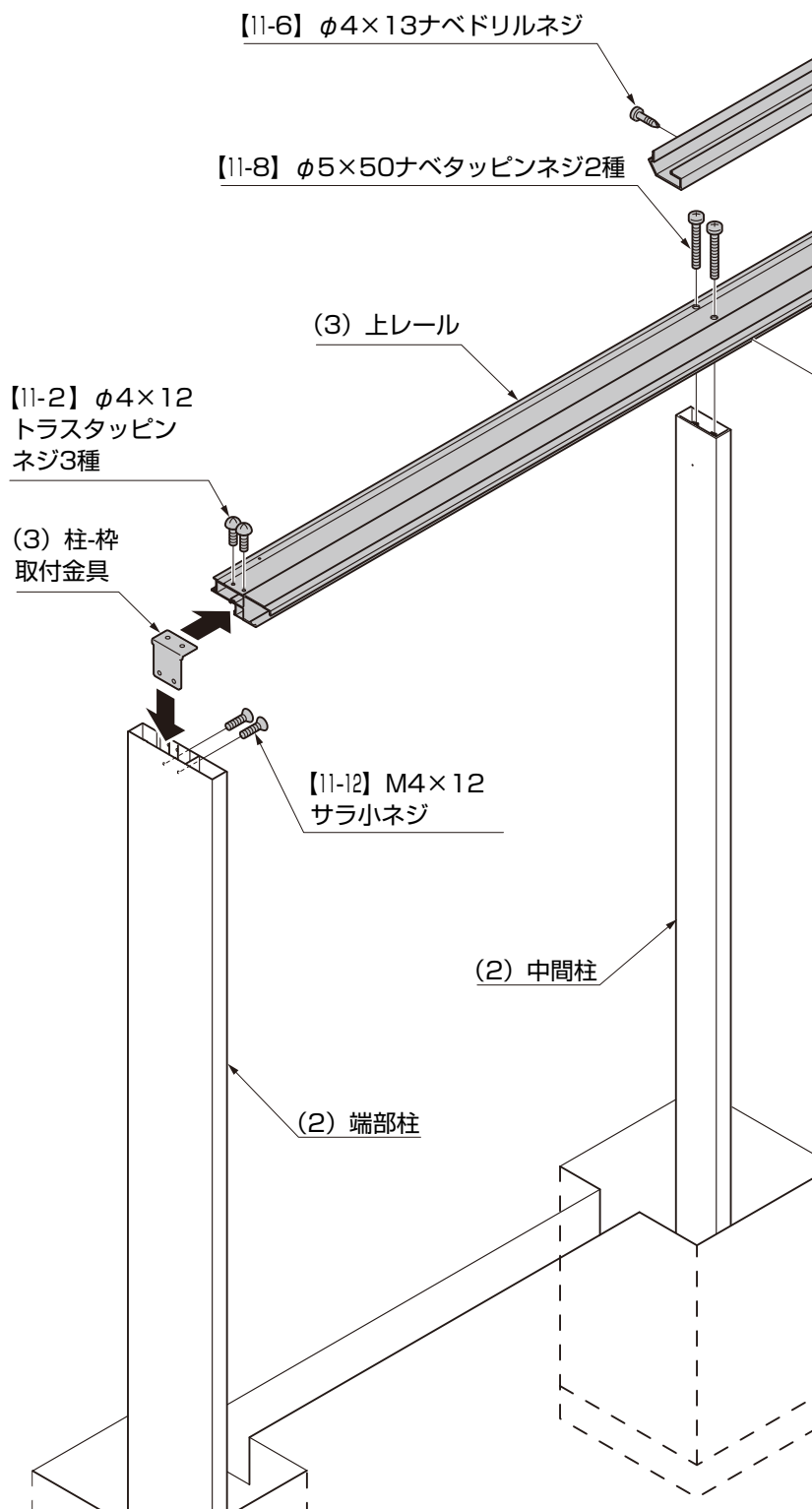
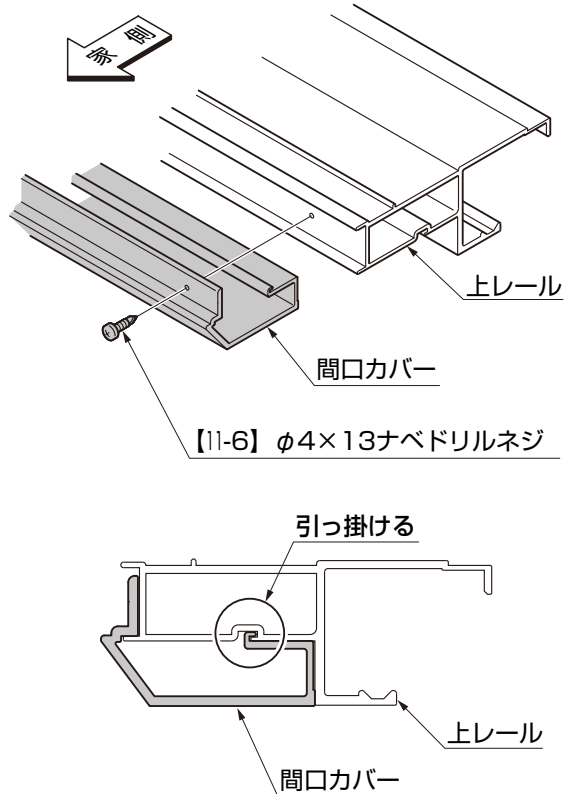
4. (つづき)

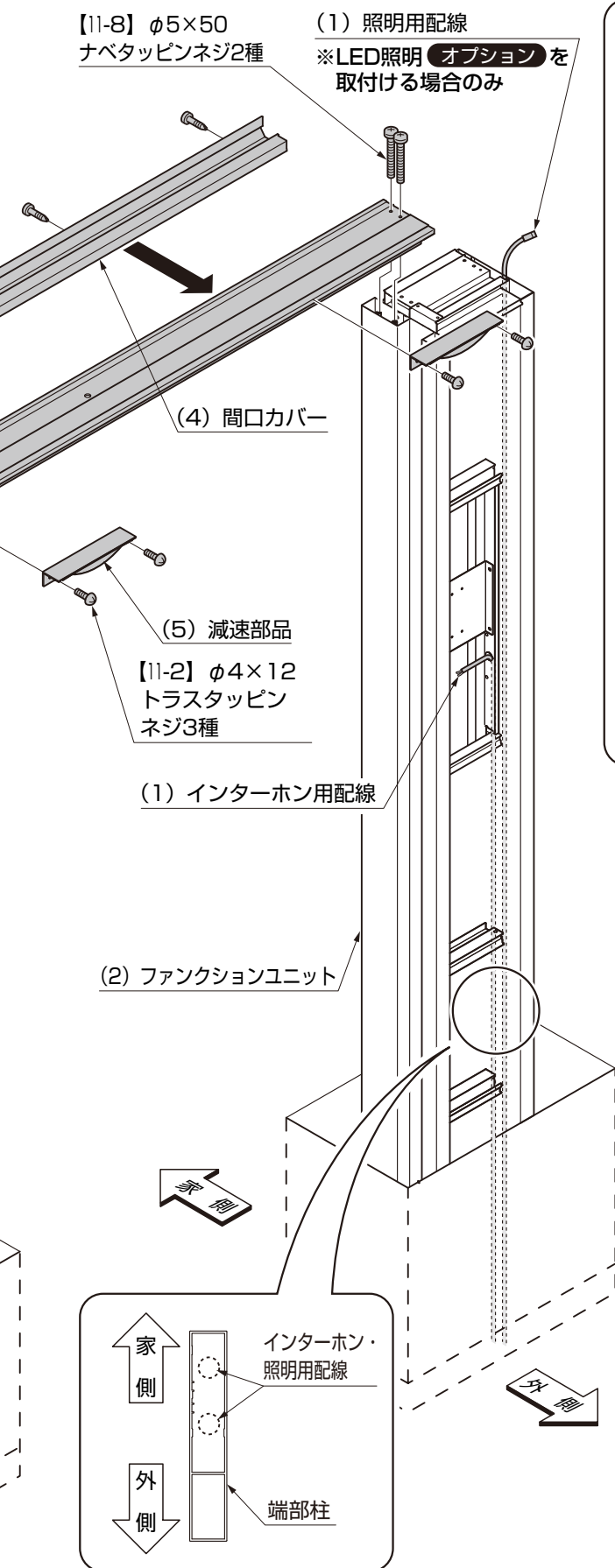
4-4 柱とレールの組立て

(2) 柱の建込み



(3) 間口カバーの取付け





(5) 減速部品の取付け

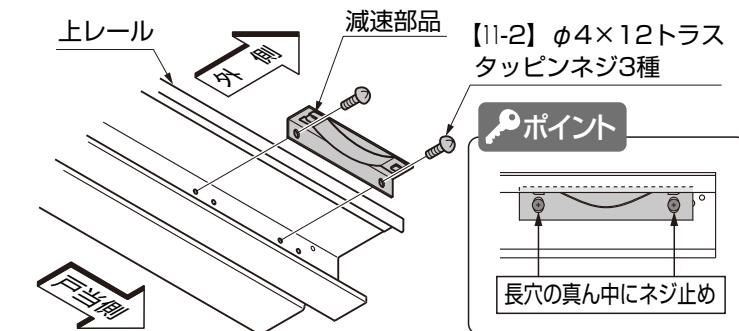


図4-4 吊引戸（縦板張）の場合

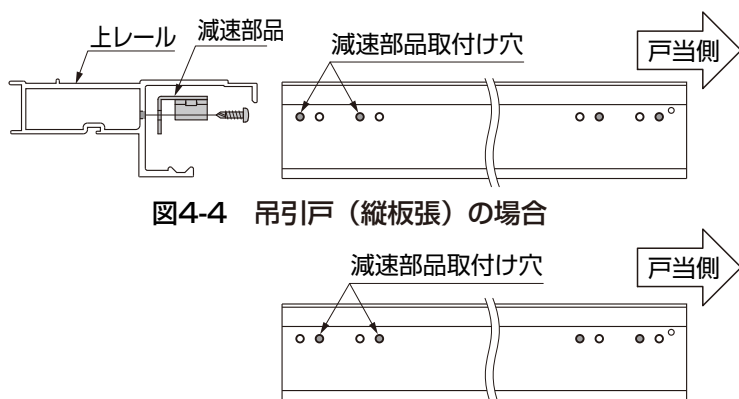
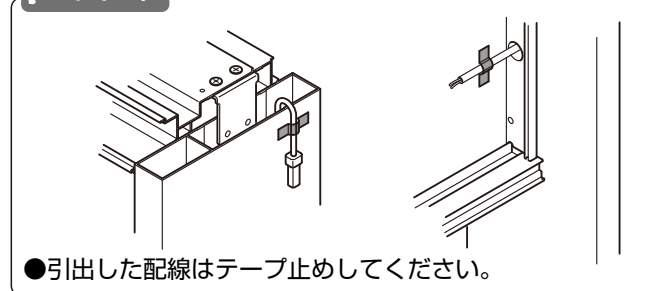


図4-5 吊引戸（縦格子）の場合

(1) 配線の引き出し

- ① 照明用配線とインターホン用配線を引出してください。
(※照明用配線の引出しは、LED照明 **オプション** を取付ける場合のみです。)

ポイント



(2) 柱の建込み

- ① 端部柱、中間柱、ファンクションユニットを基礎穴に建込み、添え木などで仮固定してください。

(3) 上レールの取付け

- ① 柱・枠取付金具を端部柱に【11-12】で取付けてください。
- ② 上レールを柱に【11-2】、【11-8】で取付けてください。

(4) 間口カバーの取付け

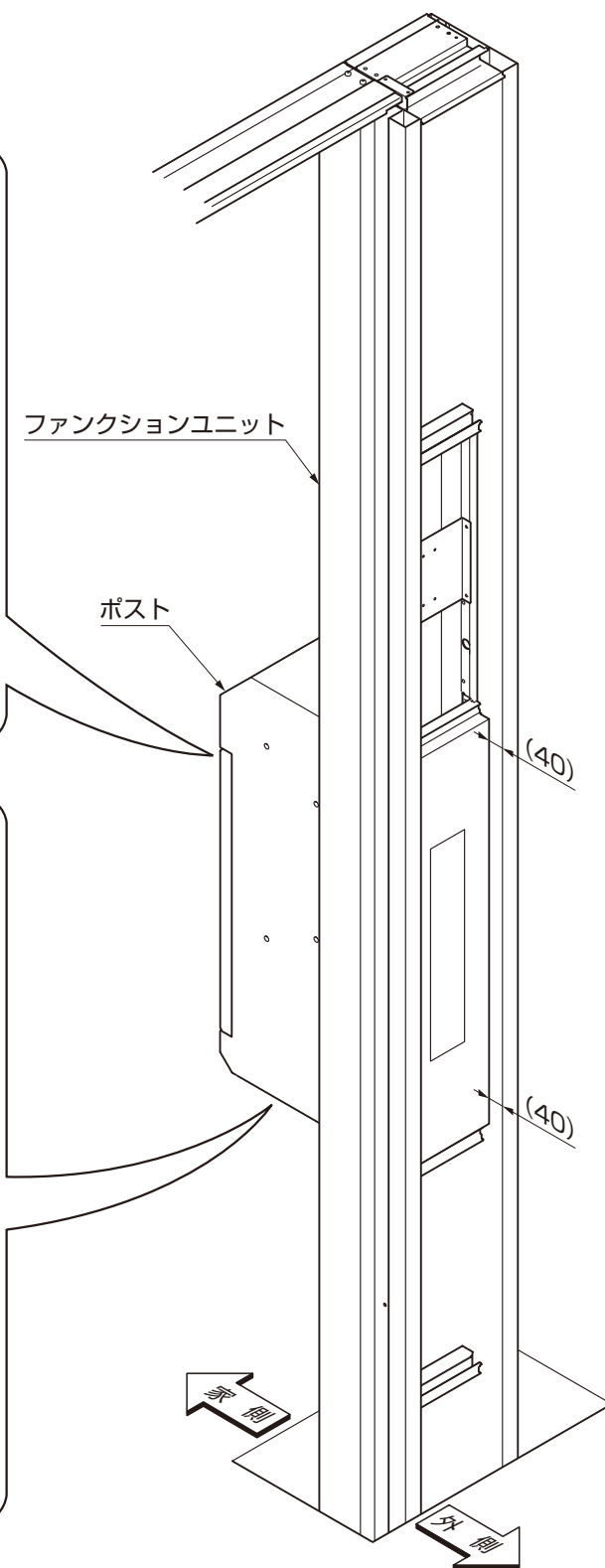
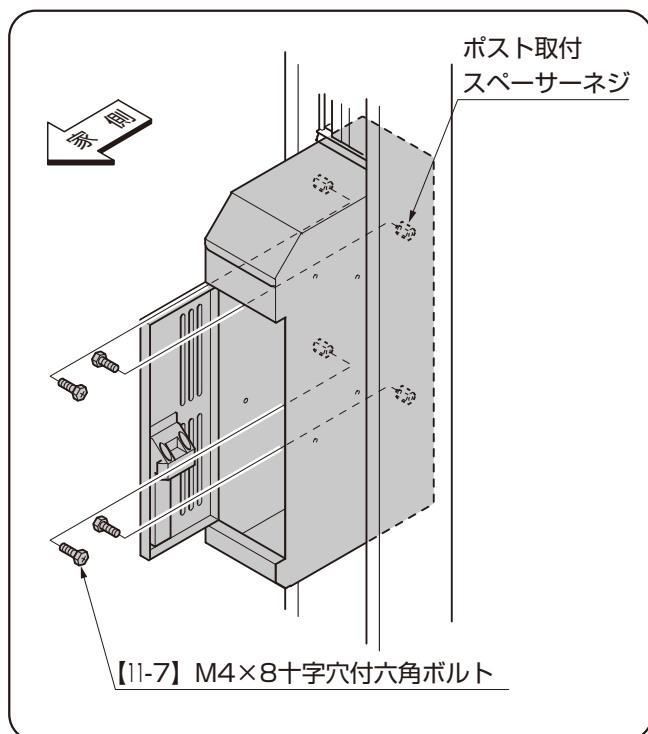
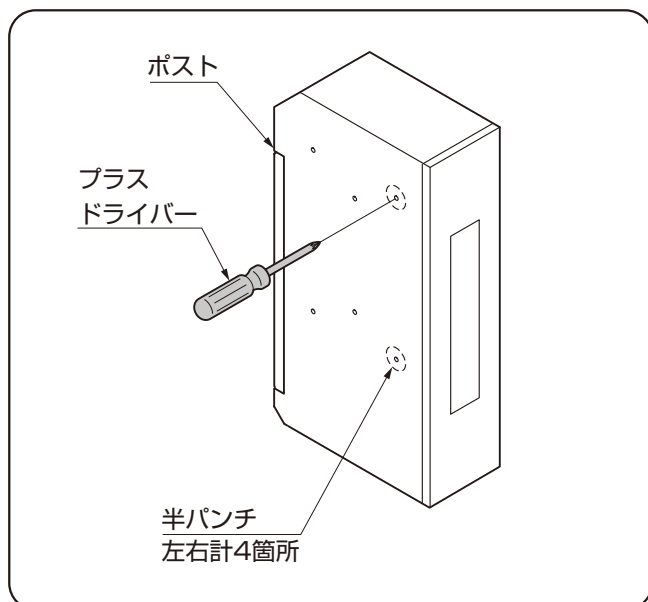
- ① 間口カバーを上レールに引っ掛け、【11-6】で取付けてください。

(5) 減速部品の取付け

- ① 減速部品を上レールに【11-2】で取付けてください。

4. (つづき)

4-5 ポストの取付け



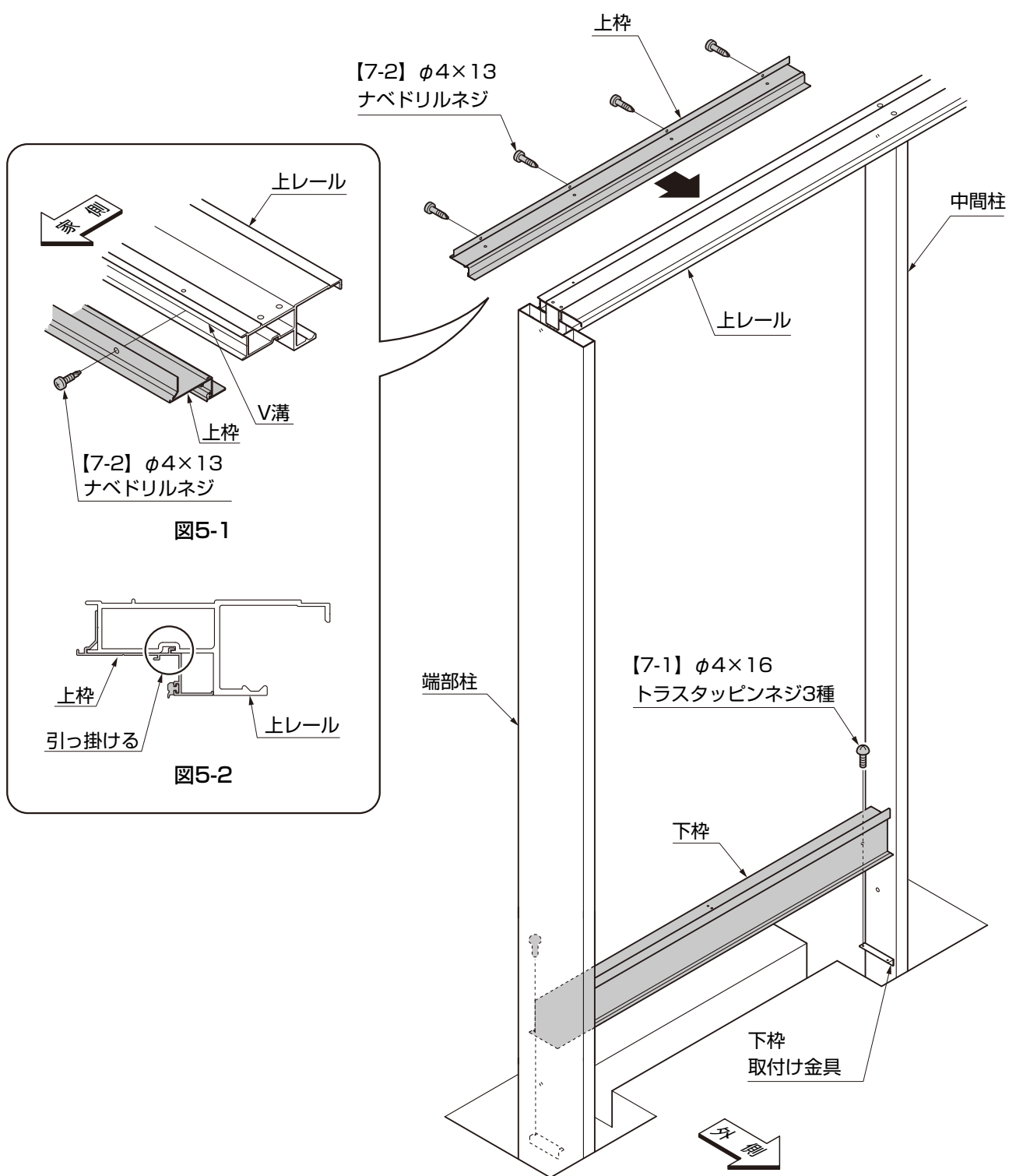
- ① ポストの半パンチにプラスドライバーをあて、ハンマーなどでたたいて穴をあけてください。
- ② ポストの内側からポストをポスト取付スペーサーネジに【11-7】で取付けてください。

ポイント

- ポストの正面と端部柱・戸当柱正面の段差が、上側と下側で同じになっているか確認してください。

5. スクリーン部材の取付け

5-1 ガラススクリーンの場合

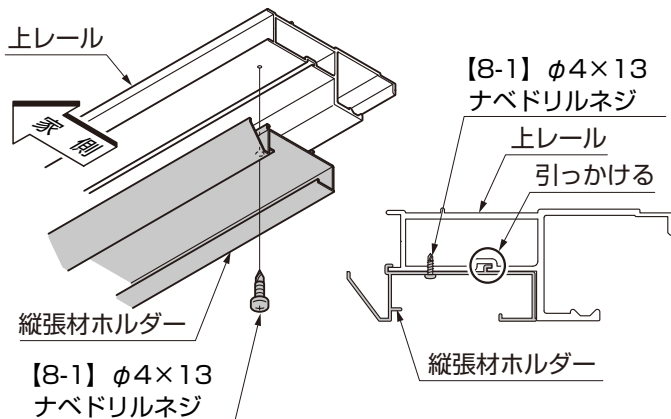


- ① 下枠を下枠取付け金具に【7-1】で取付けてください。
- ② 上枠を上レールに【7-2】で取付けてください。

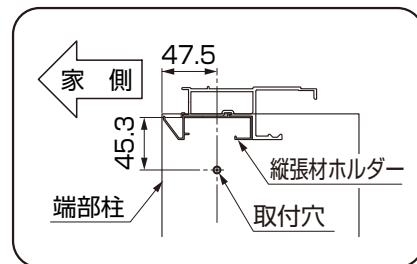
5. (つづき)

5-2 縦板張スクリーンの場合

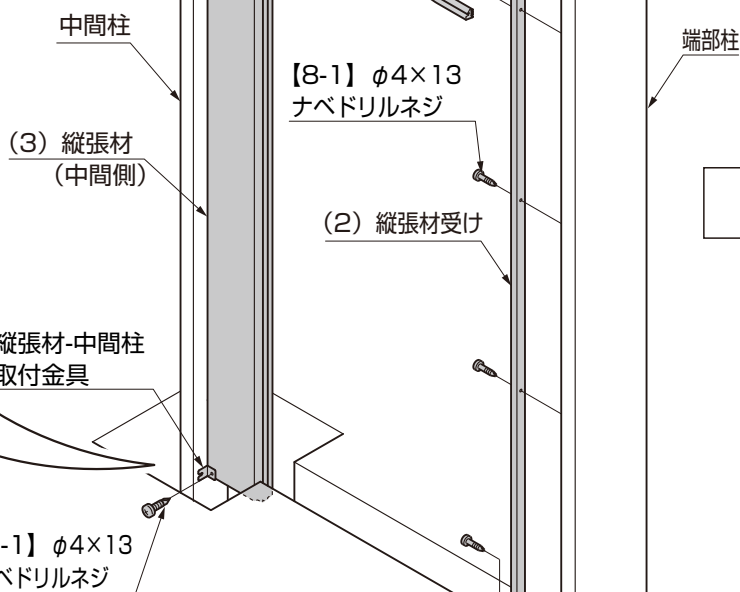
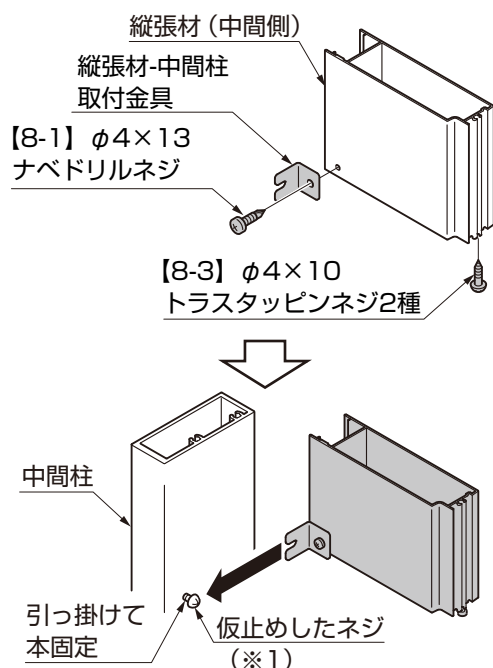
(1) 縦張材ホルダーの取付け



【8-2】φ5×50
ナベタッピンネジ2種



(3) 縦張材 (中間側) の取付け



(1) 縦張材ホルダーの取付け

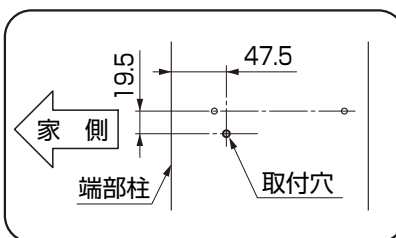
- ① 縦張材ホルダーを上レールに【8-1】で取付けてください。

(2) 縦張材受けの取付け

- ① 縦張材受けを端部柱に【8-1】で取付けてください。

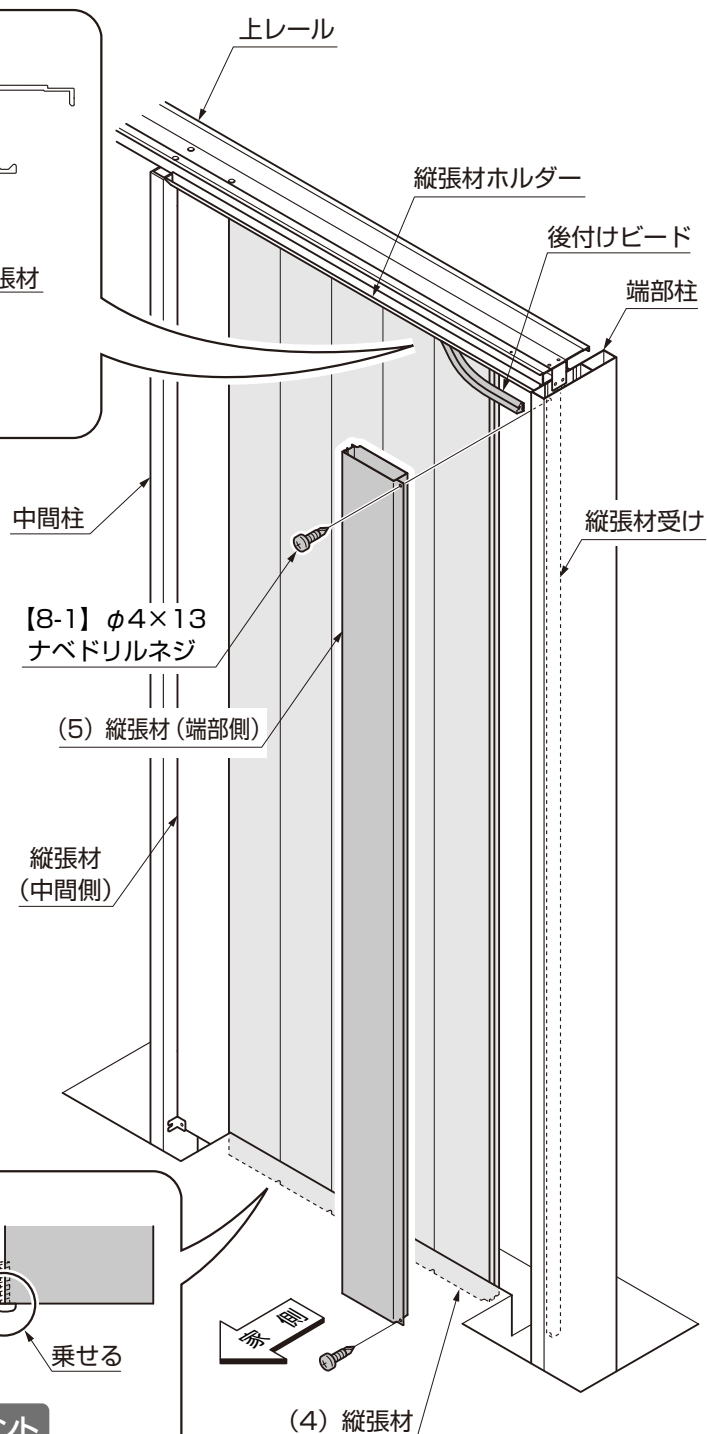
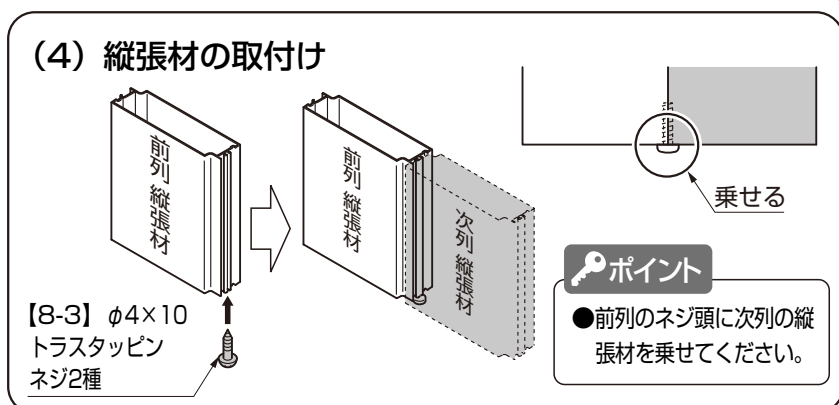
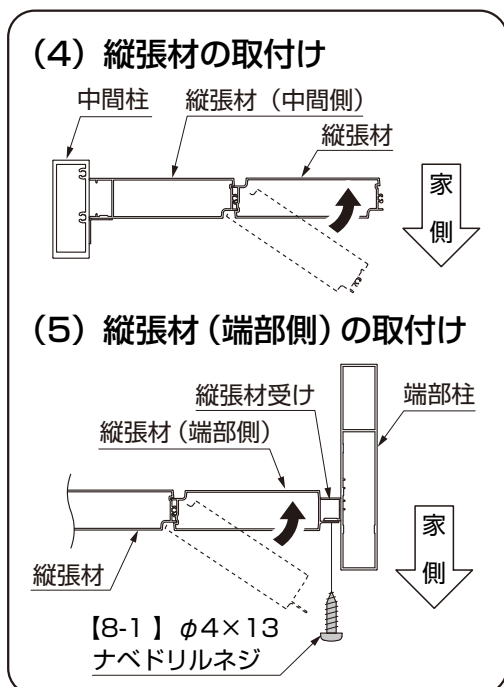
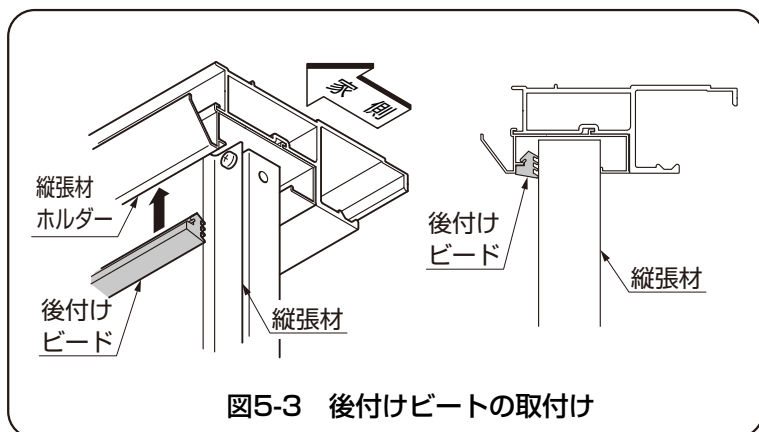
(3) 縦張材 (中間側) の取付け

- ① 縦張材 (中間側) の下部に【8-3】を取付けてください。
- ② 縦張材-中間柱取付金具を縦張材 (中間側) に【8-1】で取付けてください。
- ③ 縦張材-中間柱取付金具を中間柱に仮止めされたネジ (※1) に引っ掛けてください。
- ④ 縦張材 (中間側) を上レール、縦張材ホルダーに【8-2】で取付け、中間柱に仮止めされたネジ (※1) を本固定してください。
- ⑤ 後付けビードを縦張材ホルダーと縦張材 (中間側) の間にはめ込んでください。



ポイント

- 縦張材を1枚取付けるごとに後付けビードをはめ込んでください。



(4) 縦張材の取付け

- ①縦張材の下部に【8-3】を取付けてください。
- ②縦張材を縦張材（中間側）または前列縦張材下部のネジ頭にのせ、回転してはめ込んでください。
- ③後付けビードを縦張材ホルダーと縦張材の間にはめ込んでください。

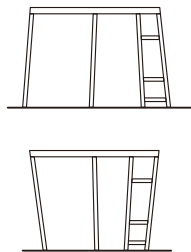
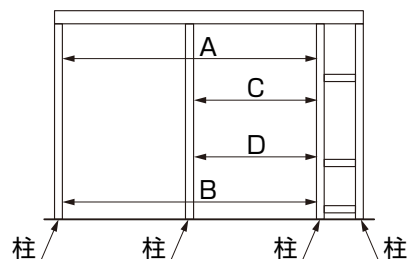
(5) 縦張材（端部側）の取付け

- ①縦張材(端部側)を前列縦張材下部のネジ頭にのせ、回転してはめ込んでください。
- ②縦張材(端部側)を縦張材受けに【8-1】で取付けてください。
- ③後付けビードを縦張材ホルダーと縦張材(端部側)の間にはめ込んでください。

6. 基礎の施工

6-1 施工寸法の確認と基礎の施工

(1) 間口寸法の確認

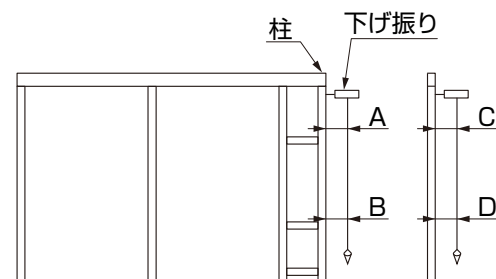


寸法を外れたイメージ

ポイント

- A、BとC、Dの上下2箇所の内々寸法をスケールを使用して測り、誤差がないことを確認してください。

(2) 柱の倒れの確認

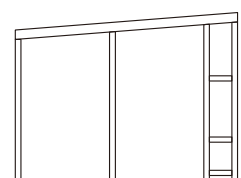
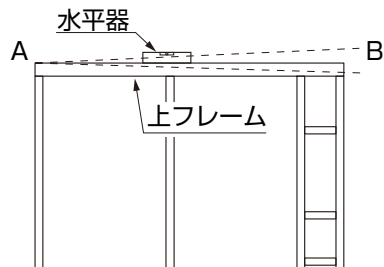


寸法を外れたイメージ

ポイント

- A、BとC、Dの上下2箇所の寸法を下げ振りを使用して測り、誤差がないことを確認してください。
($\pm 2.5\text{mm}$ 以内)

(3) 上レールの水平の確認

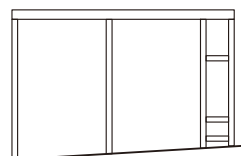
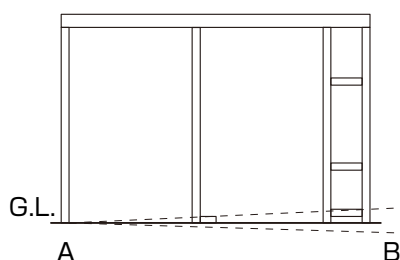


寸法を外れたイメージ

ポイント

- 上レールに水平器を置き、A、B間が水平であることを確認してください。
($\pm 2.5\text{mm}$ 以内)

(4) G.L.の水平の確認



寸法を外れたイメージ

ポイント

- G.L.面A、B間が水平であることを確認してください。
($\pm 2.5\text{mm}$ 以内)

①施工寸法を確認し、基礎を養生してください。

7. ガラススクリーンの取付け

7-1 セッティングブロック・縦枠の取付け

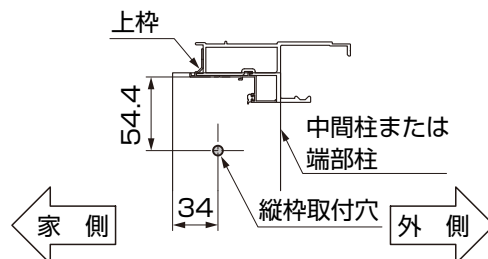
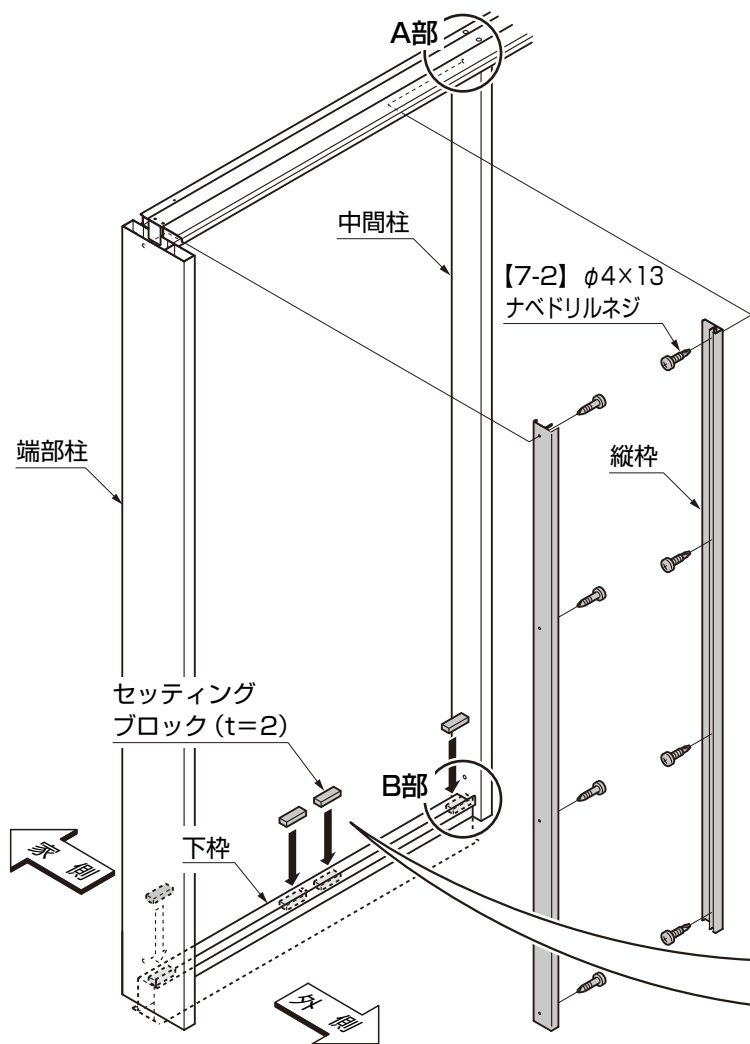


図7-1 A部詳細図

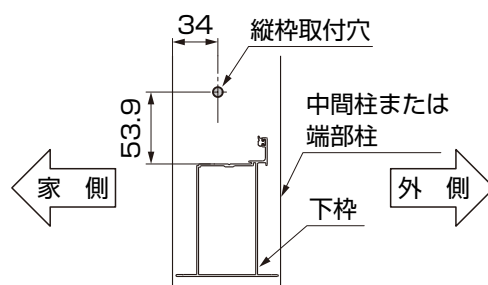


図7-2 B部詳細図

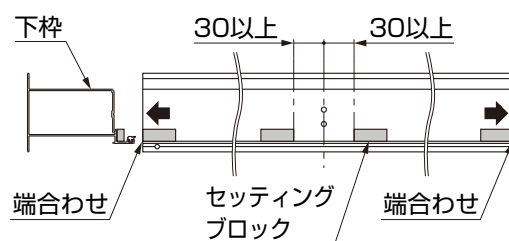
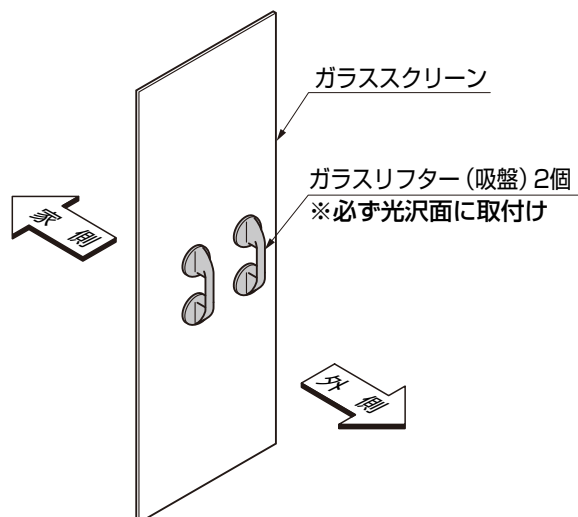


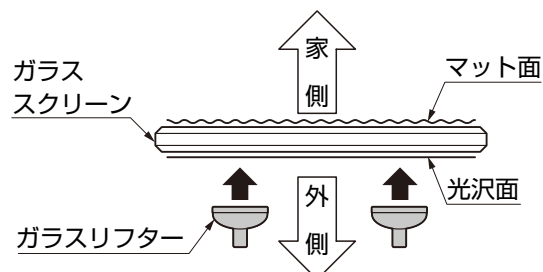
図7-3 セッティングブロックの貼付け位置

- ①セッティングブロックのはくり紙をはがし、下枠に張付けてください。
- ②縦枠を柱に【7-2】で取付けてください。

7-2 ガラススクリーンの取付準備



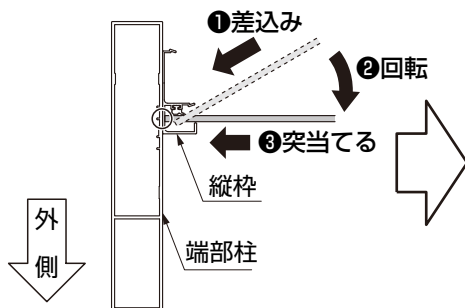
⚠ 注意



- ガラスリフター (吸盤) は、必ずガラススクリーンの光沢面に取付けてください。マット面に取付けると脱落し、ガラススクリーンの破損やケガをするおそれがあります。
ガラス1枚あたりの重量は約20Kgです。
20Kgの重量に対応しているガラスリフターをご用意ください。

7. (つづき)

7-3 ガラススクリーンの取付け



7-4 縦枠カバーの取付け

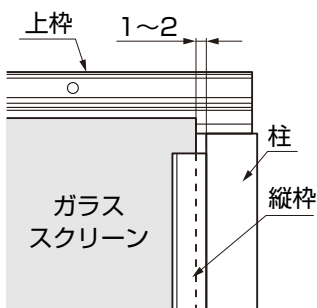
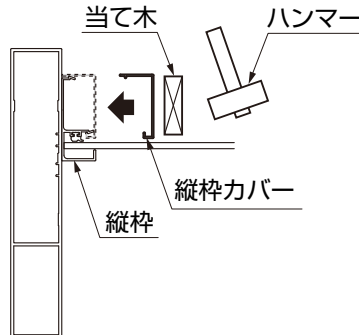


図7-4 家側から見た図
(ガラススクリーン上側)

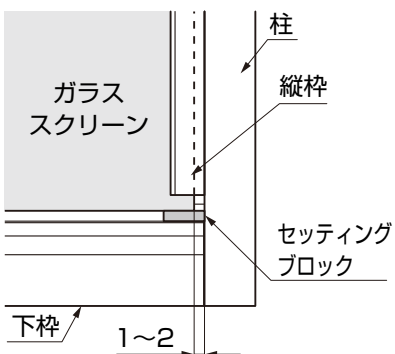
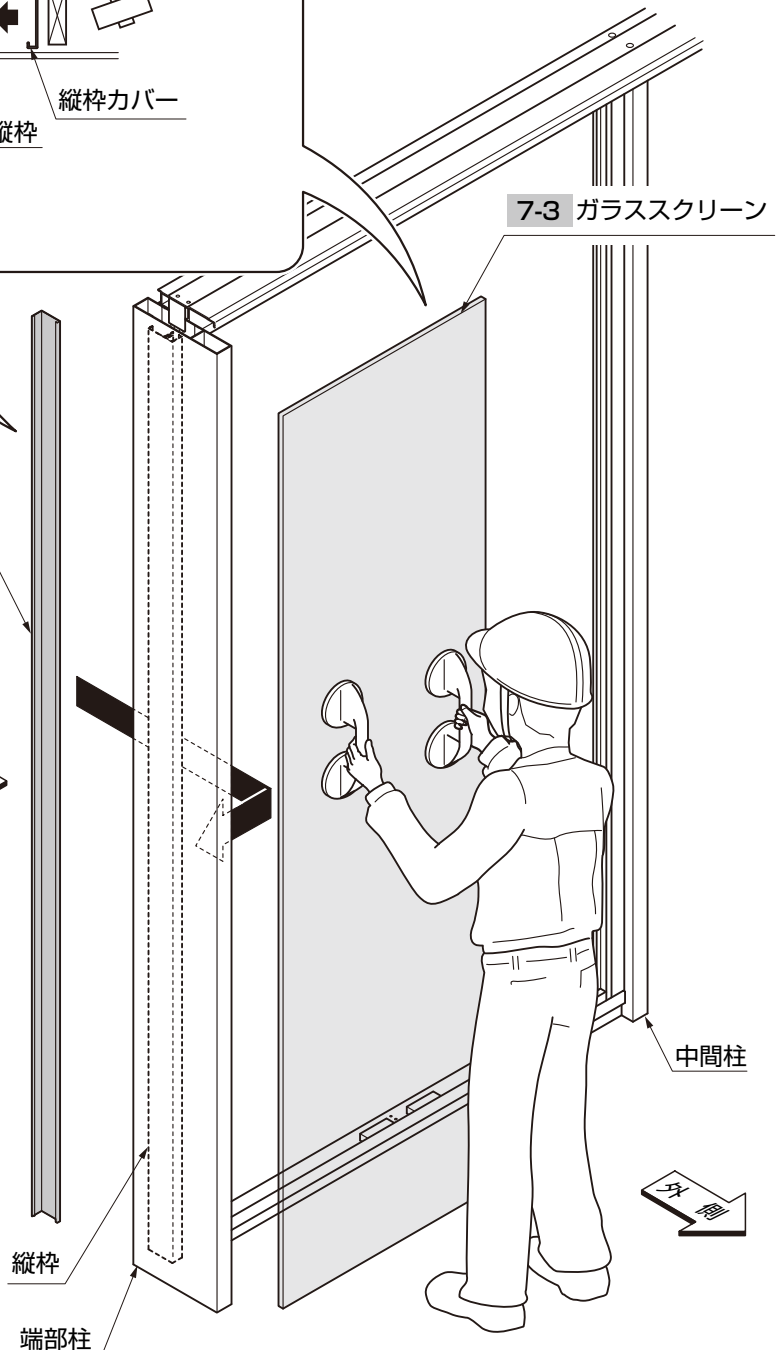


図7-5 家側から見た図
(ガラススクリーン下側)

7-4 縦枠カバー



7-3 ガラススクリーンの取付け

①ガラススクリーンを縦枠に回転させてはめ込んでください。

ポイント

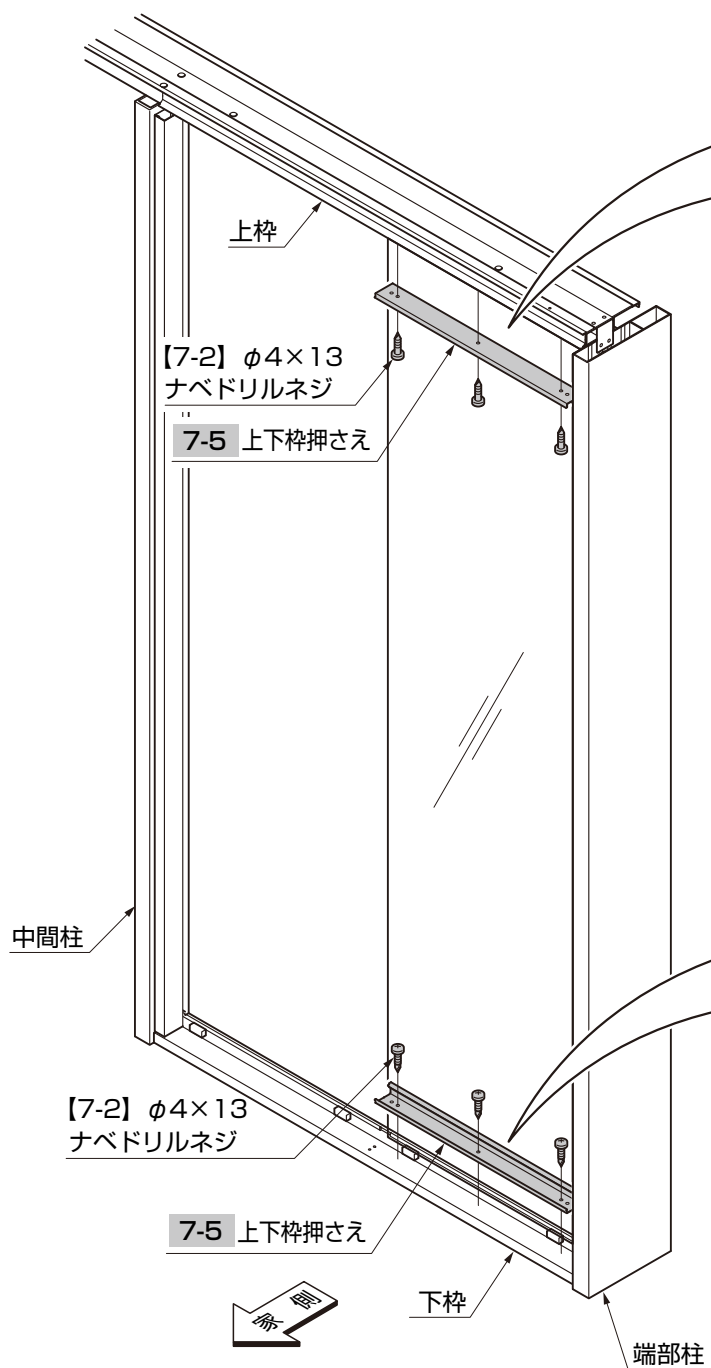
- ガラススクリーンが縦枠に突き当たるようにはめ込んでください。
- ガラススクリーンがセッティングブロックの上に乗っていることを確認してください。

7-4 縦枠カバーの取付け

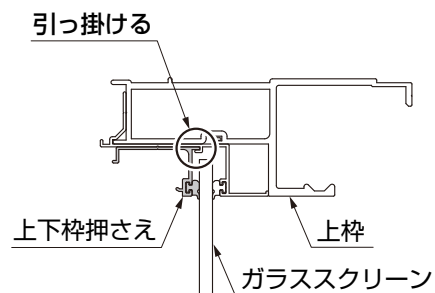
①縦枠カバーを縦枠にはめ込んでください。

ポイント

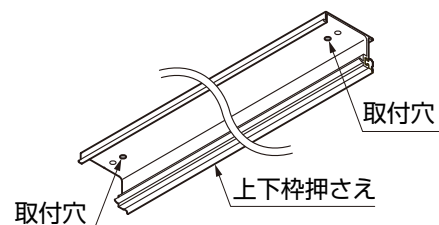
- 縦枠カバーは、当て木をしてハンマーなどで叩くなどして縦枠にしっかりはめ込んでください。



7-5 上下枠押さえの取付け

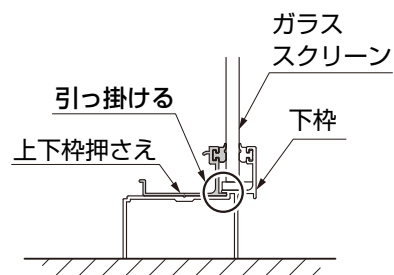


ポイント



- 上下枠押さえ両端の取付穴は、内側の穴を使用して取付けてください。

7-5 上下枠押さえの取付け



7-5 上下枠押さえの取付け

- ①上下枠押さを上枠、下枠に【7-2】で取付けてください。

ポイント

- 上下枠押さえの取付けが終わったら、7-3 ~ 7-5 と同様にもう一枚のガラススクリーンを取付けてください。

7. (つづき)

7-6 中間受けの取付け

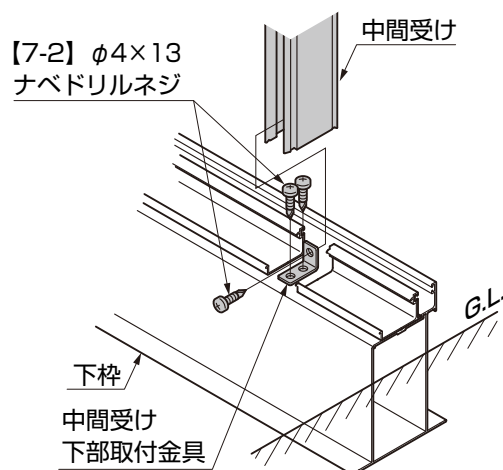


図7-6 下枠側の取付け

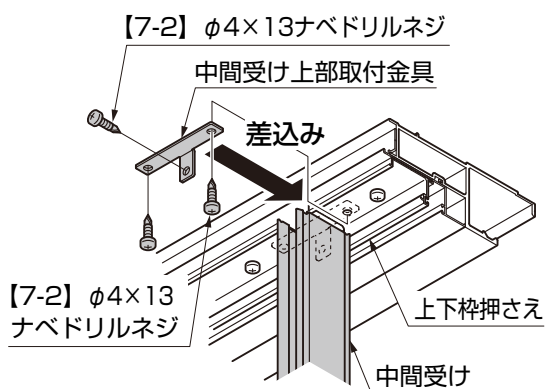
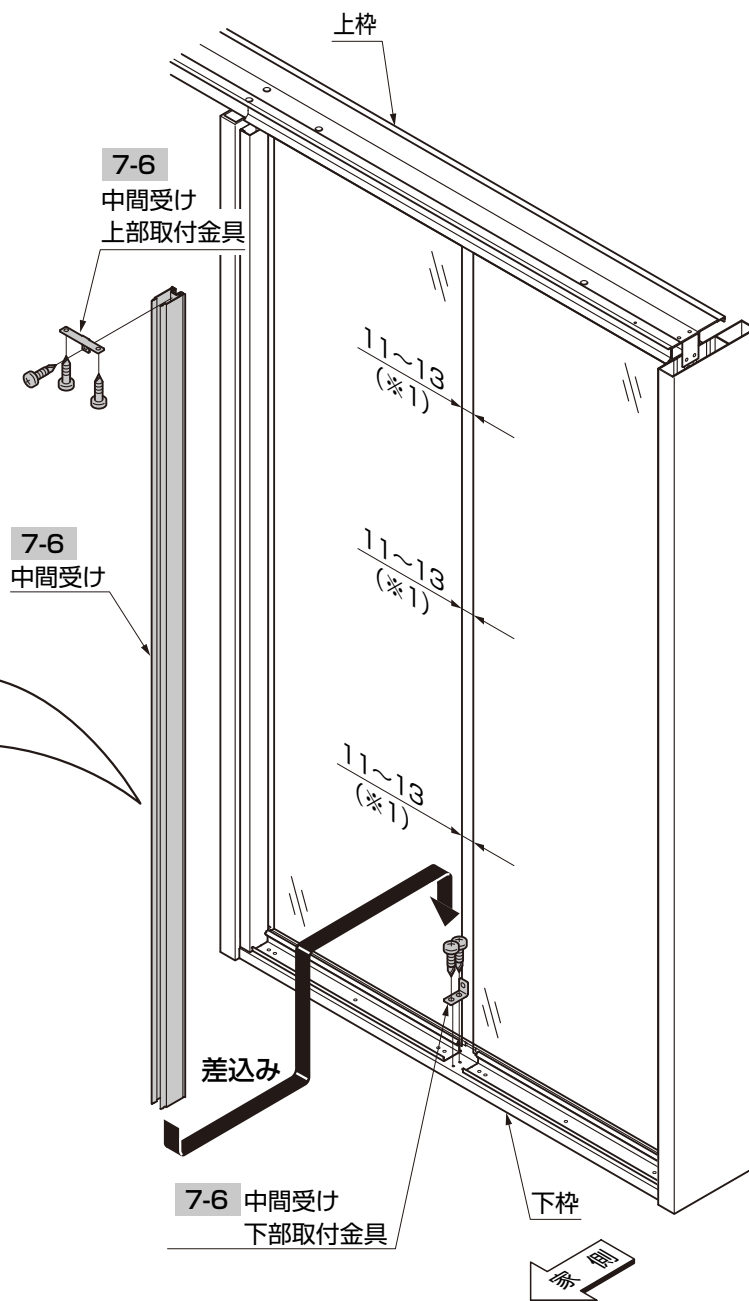


図7-7 上枠側の取付け

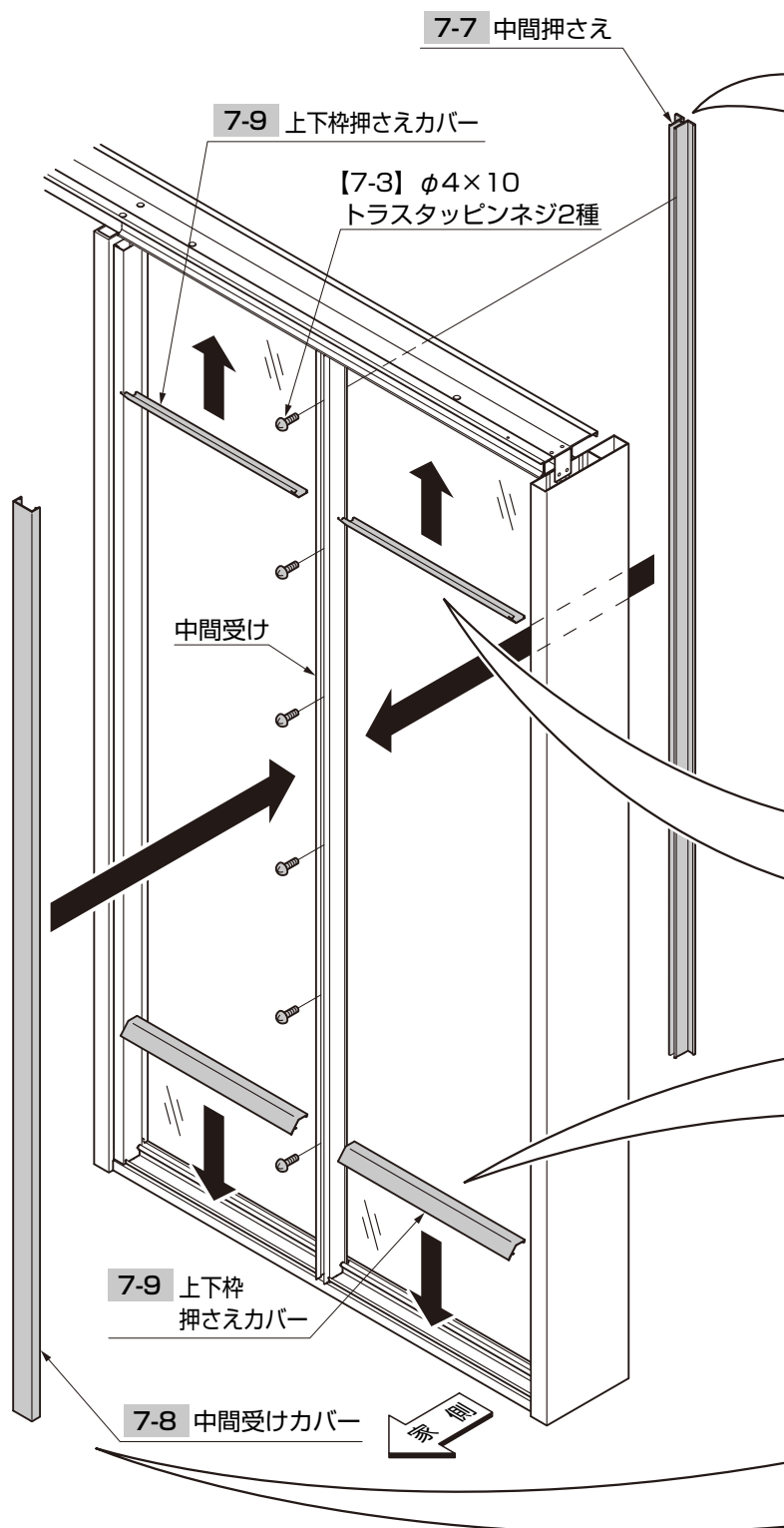


7-6 中間受けの取付け

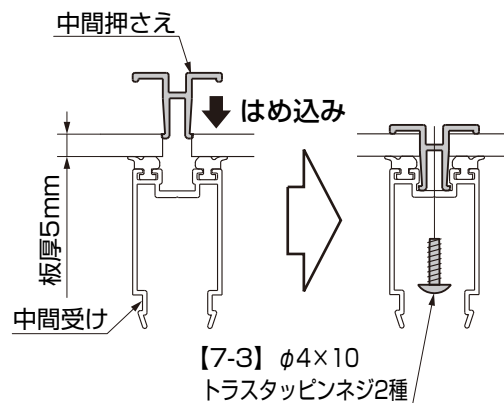
ポイント

●ガラスとガラスのすき間が11～13mm (※1) になっていることを確認してください。(上側、中間、下側の3箇所)

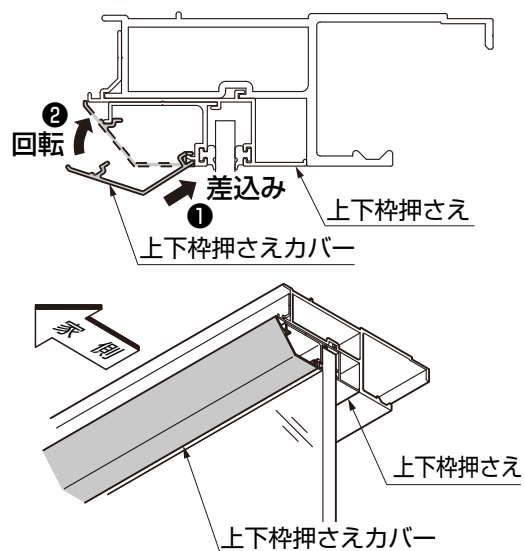
- ① 中間受け下部取付金具を下枠に【7-2】で取付けてください。
- ② 中間受けを中間受け下部取付金具【7-2】で取付けてください。
- ③ 中間受け上部取付金具を中間受けと上下枠押さえに【7-2】で取付けてください。



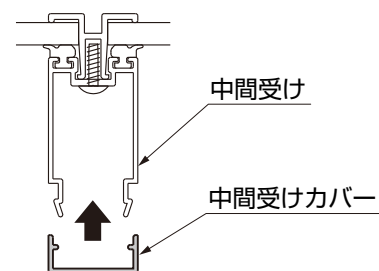
7-7 中間押さえの取付け



7-9 上下枠押さえカバーの取付け



7-8 中間受けカバーの取付け



7-7 中間押さえの取付け

- ① 中間押さを中間受けにはめ込み、【7-3】で固定してください。

7-8 中間受けカバーの取付け

- ① 中間受けカバーを中間受けにはめ込んでください。

7-9 上下枠押さえカバーの取付け

- ① 上下枠押さえカバーを上下枠押さえに回転させてはめ込んでください。

8. 吊引戸の吊込み

8-1 下ローラーの取付け

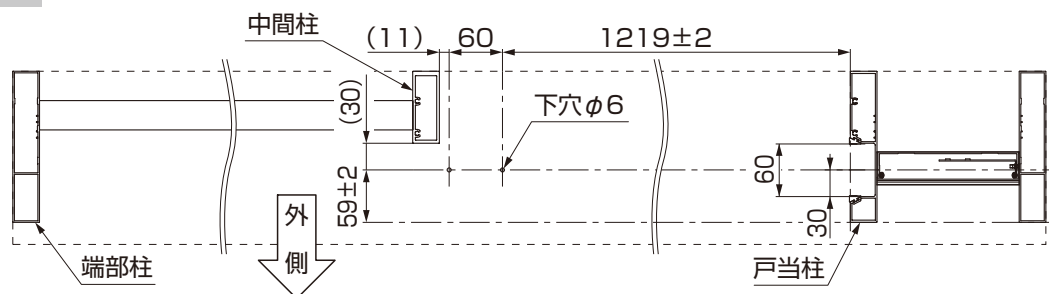
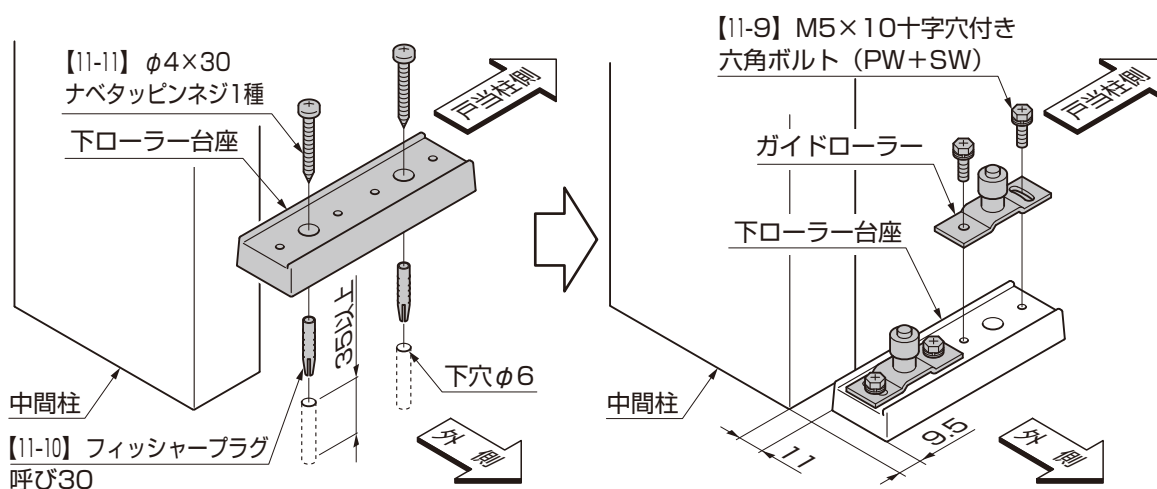


図8-1 下穴加工位置



8-3 下ローラー・減速部品の調整

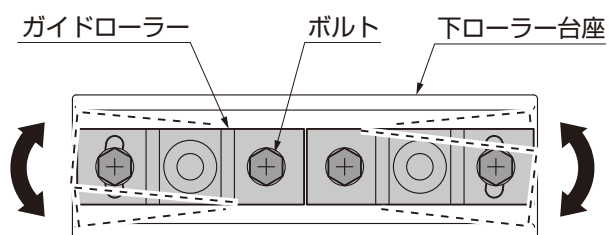


図8-4 下ローラーの調整

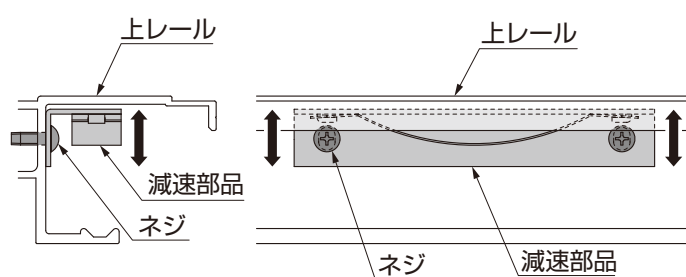
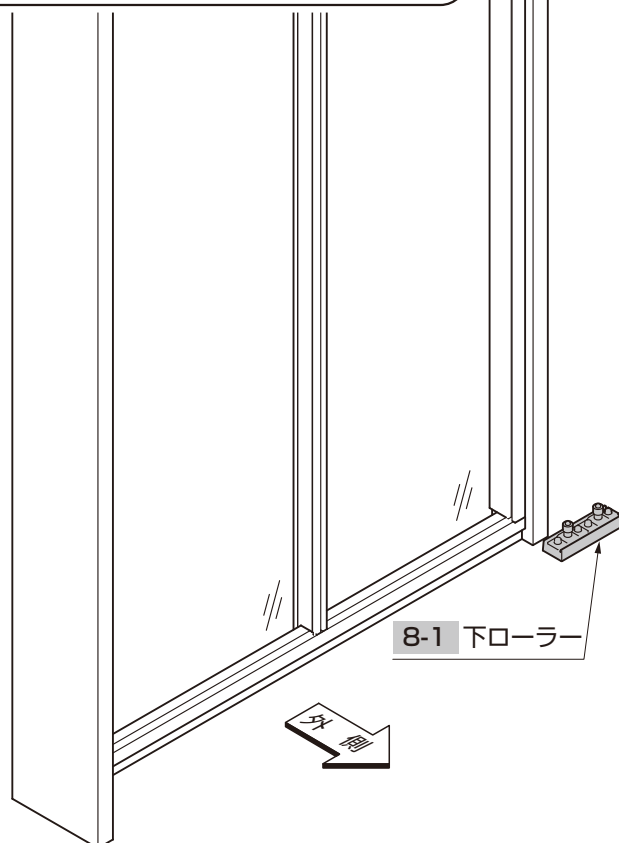
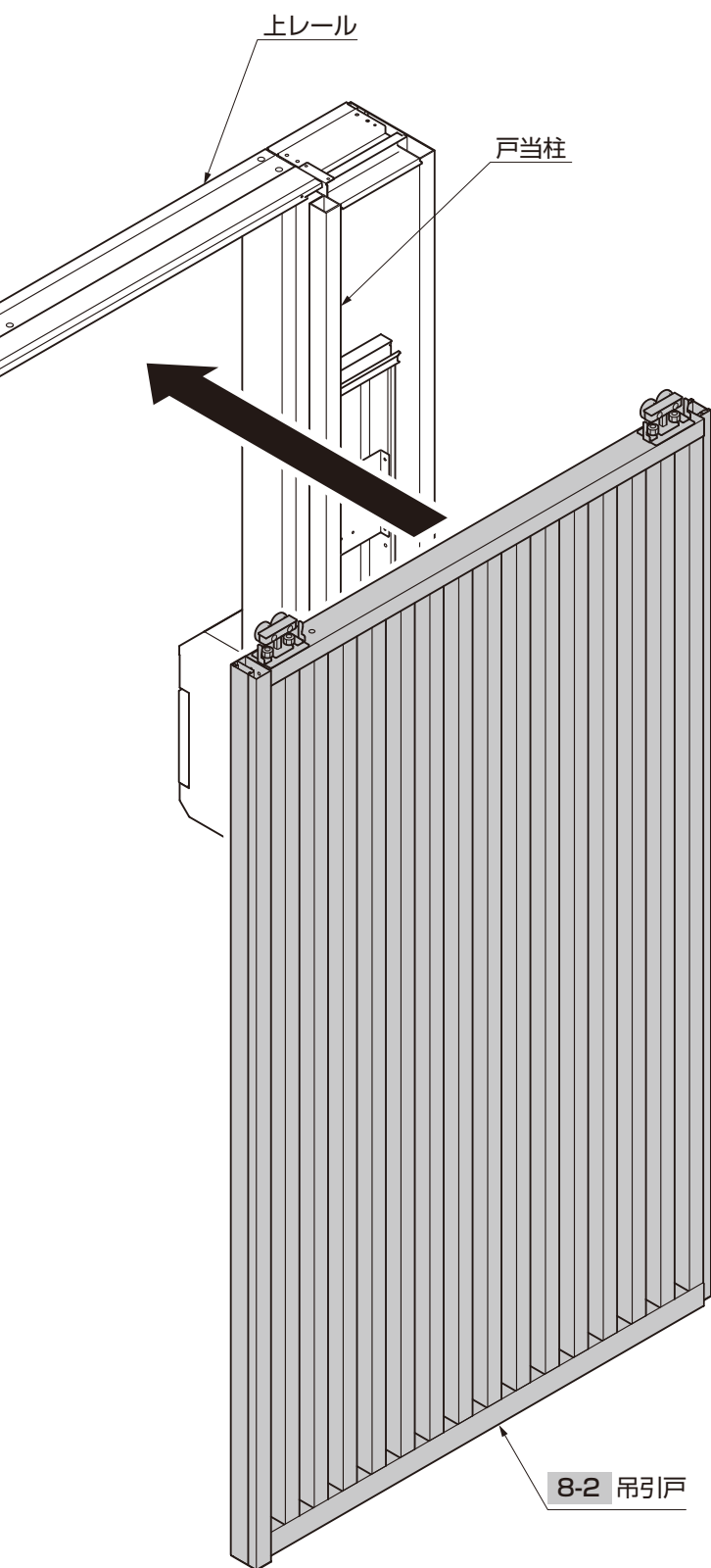


図8-5 減速部品の調整





8-2 吊引戸の吊込み

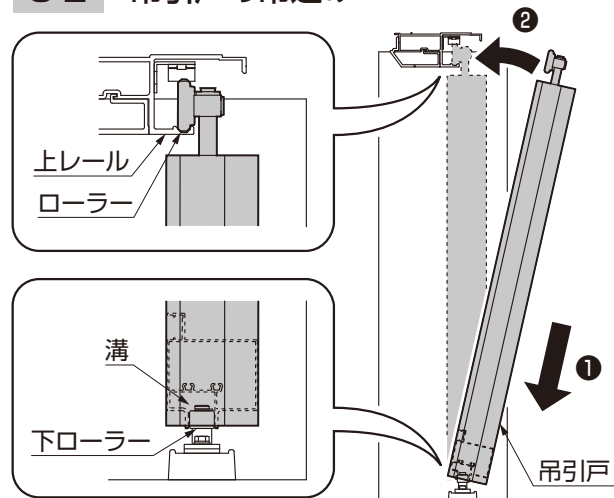


図8-2

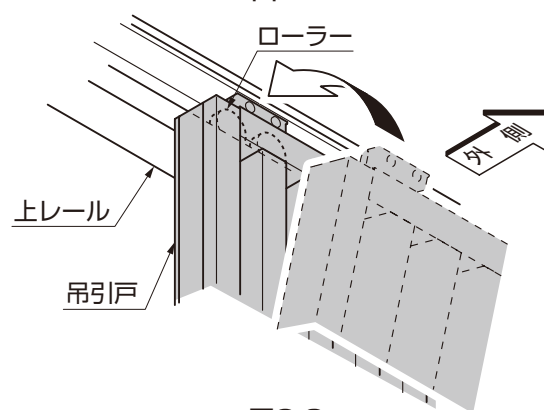


図8-3

8-1 下ローラーの取付け

- ① G.L.に深さ35mm以上φ6の下穴をあけ、【11-10】を取付けてください。
- ② 下ローラー台座をG.L.に【11-11】で取付けてください。
- ③ ガイドローラーを下ローラー台座に【11-9】で取付けてください。

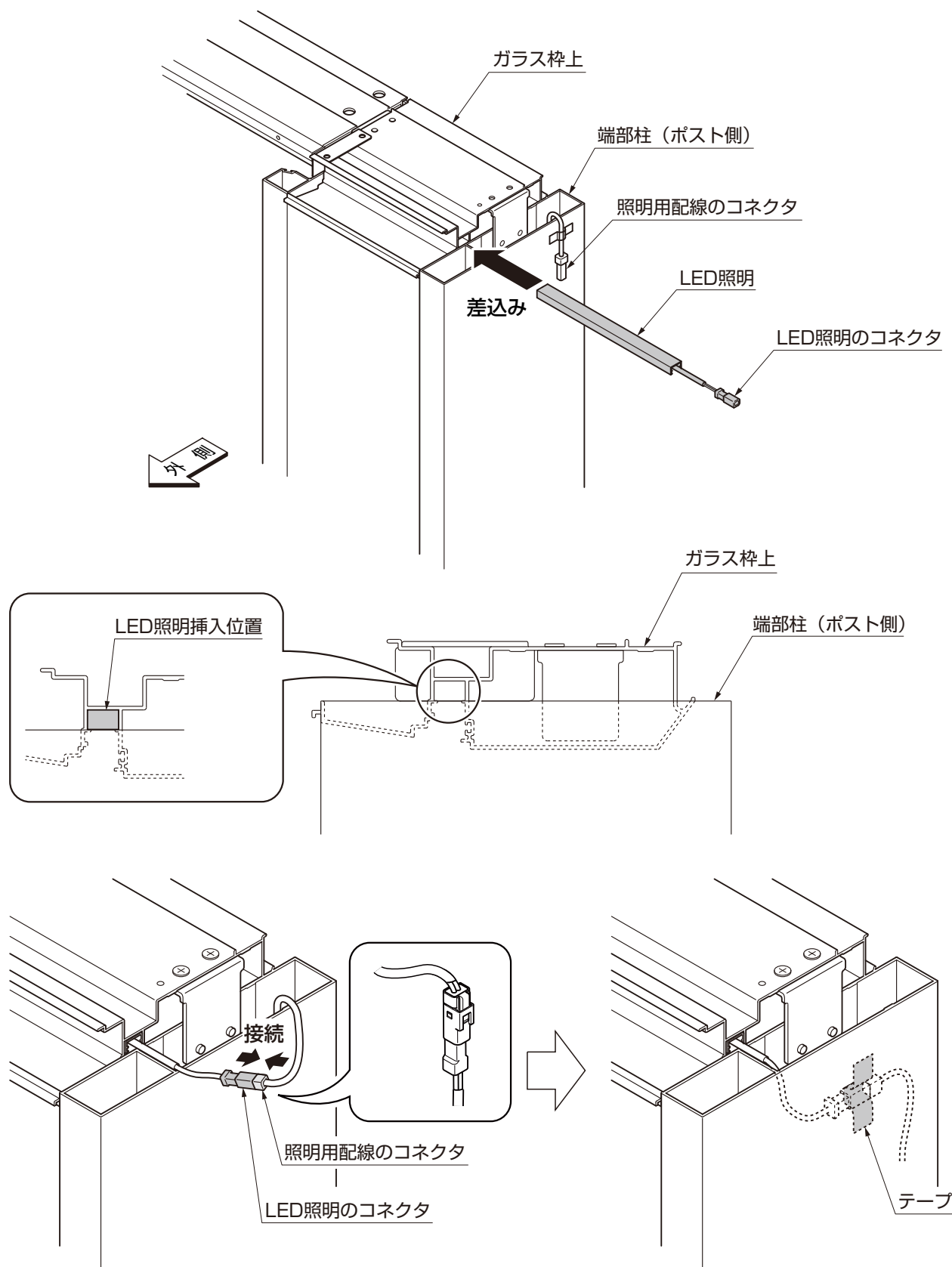
8-2 吊引戸の吊込み

- ① 吊引戸下部の溝を下ローラーにはめてください。
- ② 吊引戸上部のローラーを上レールに引っ掛けてください。

8-3 下ローラー・減速部品の調整

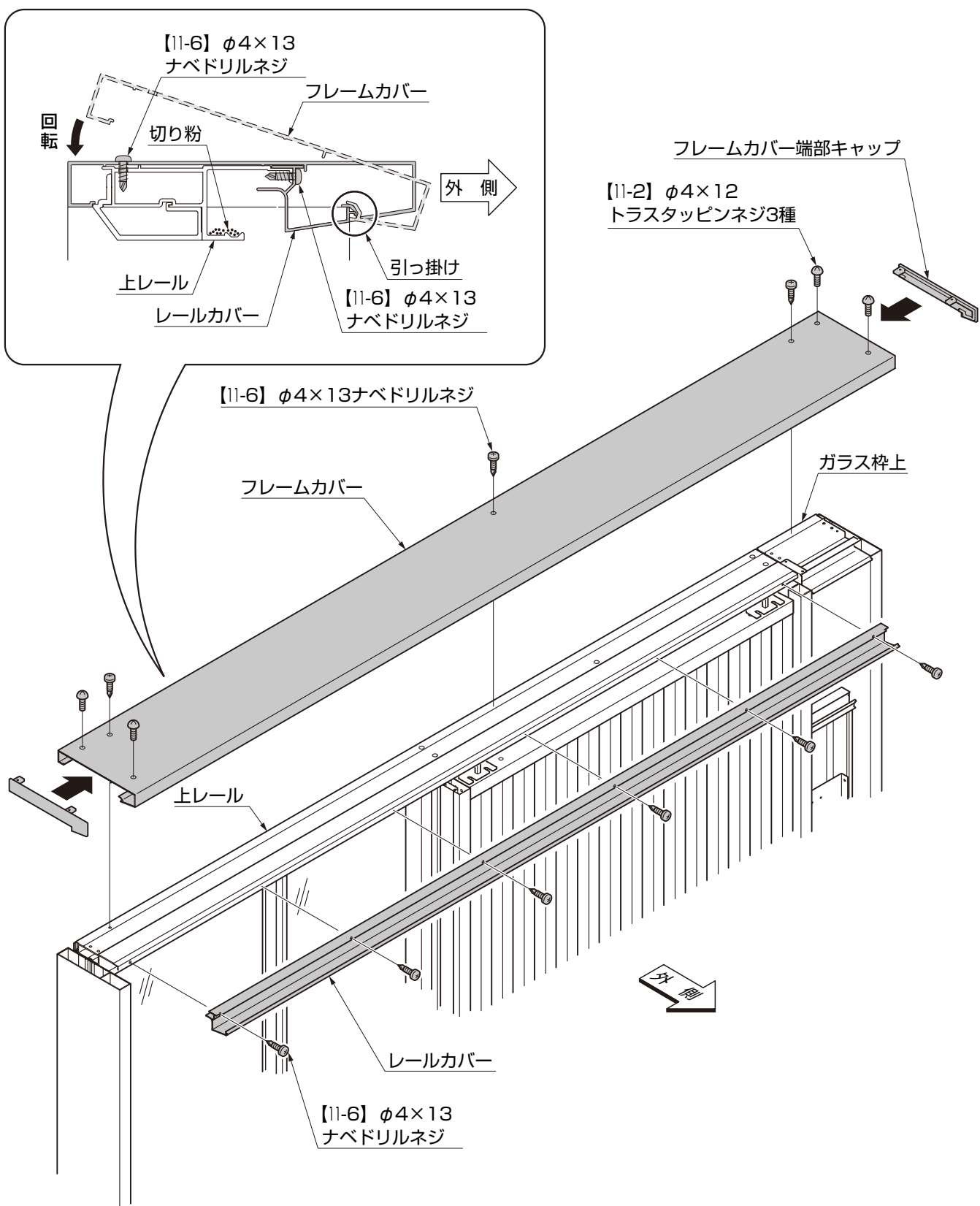
- ① 下ローラーのボルトを緩め、ガイドローラーの位置を調整してください。
- ② 吊引戸の開閉を行い、戸当柱にスムーズに入るか確認してください。
- ③ 減速部品のネジを緩め、減速部品の位置を調整してください。
- ④ 吊引戸の開閉を行い、戸当柱に入れる際に減速すること、勝手に開かないことを確認してください。

9. LED照明の取付け **オプション**



- ①LED照明をガラス枠上に差込んでください。
- ②LED照明のコネクタと照明用配線のコネクタを接続し、柱内部にテープ止めしてください。

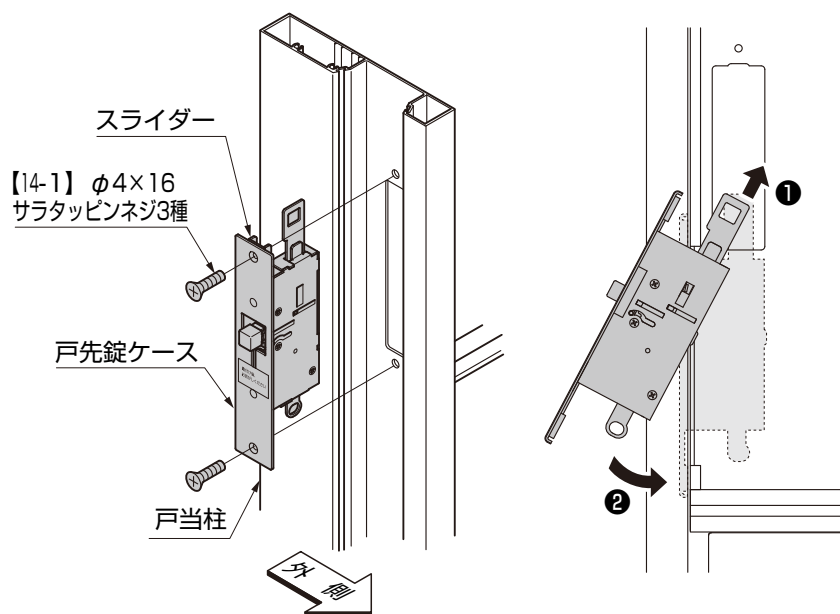
10. カバーの取付け



- ①レールカバーを上レールに【11-6】で取付けてください。
- ②フレームカバー端部キャップをフレームカバーに【11-2】で取付けてください。
- ③フレームカバーを上レール、ガラス枠上に【11-6】で取付けてください。
- ④上レールに乗っている切り粉を除去してください。

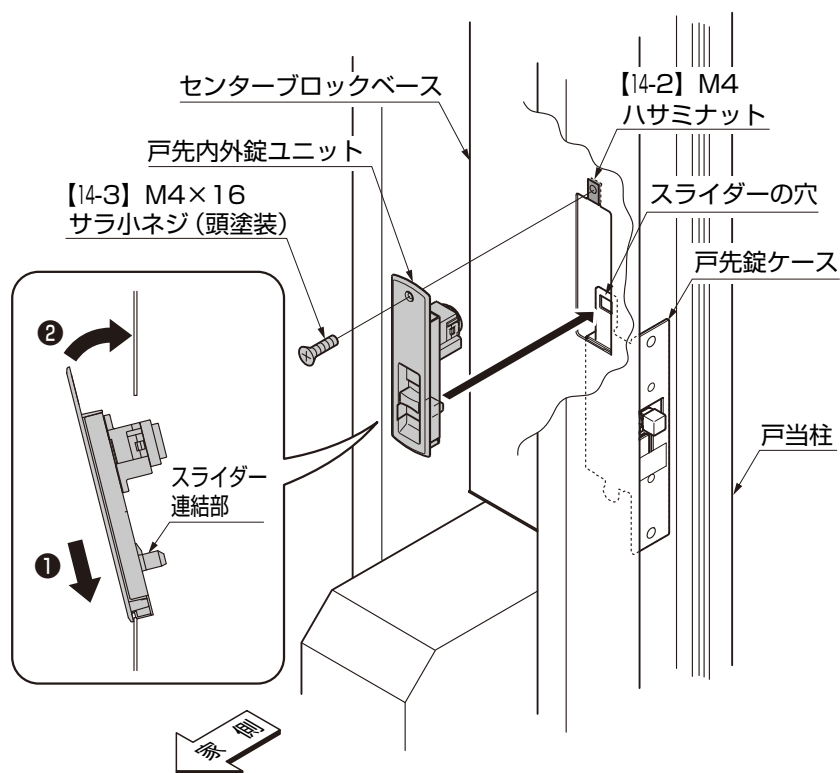
11. ファンクションユニットの組立て

11-1 戸先錠ケースの取付け

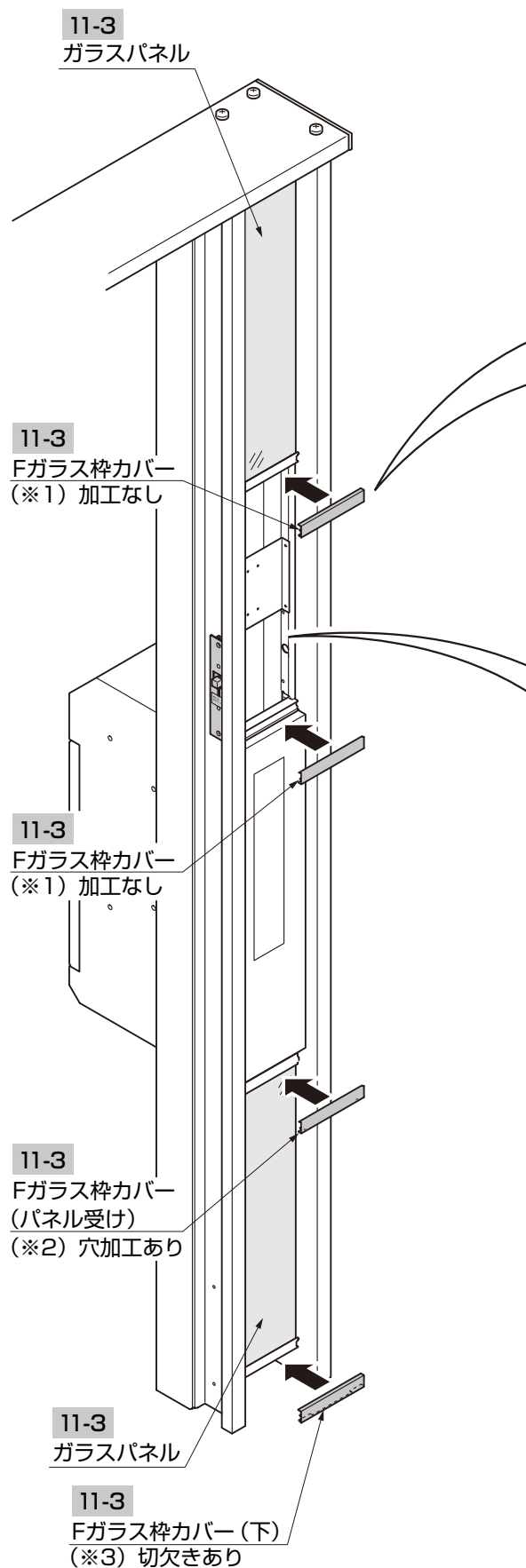


- ① 錠ケースを錠ケース取付穴に入れて【14-1】で取付けてください。

11-2 戸先内外錠ユニットの取付け



- ① 【14-2】をセンターブロックベースにはめてください。
② 戸先内外錠ユニットのスライダー連結部を戸先錠ケースのスライダーの穴に合わせ、戸先内外錠ユニットをセンターブロックベースに【14-3】で取付けてください。



Fガラス枠カバー
(※1) 加工なし

Fガラス枠カバー
(パネル受け)
(※2) 穴加工あり

Fガラス枠カバー (下)
(※3) 切欠きあり

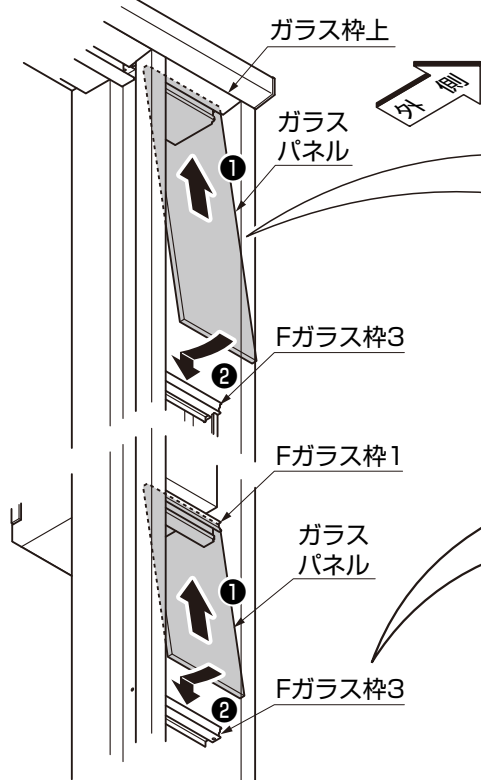
図 11-1
Fガラス枠カバーの違い

11-2
戸先内外錠
ユニット

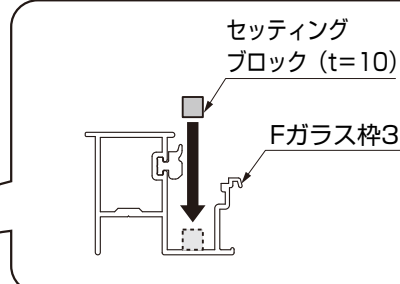
11-1
戸先錠ケース

11-3 ガラスパネルの取付け

(1) ガラスパネルの取付け

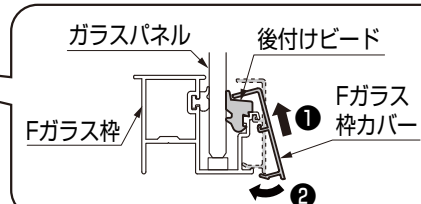
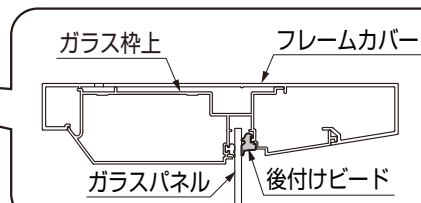
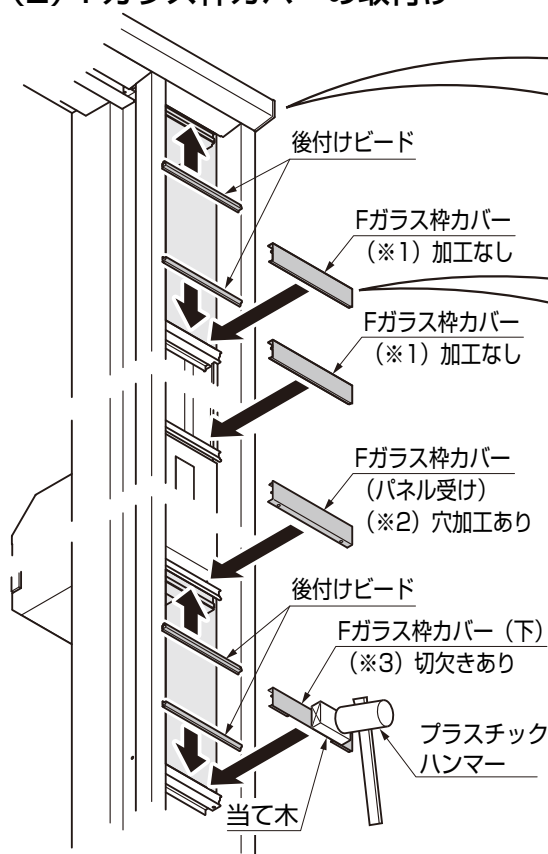


ポイント



- ①セッティングブロック (t=10) をF
ガラス枠3に取付けてください。
- ②ガラスパネルをFガラス枠に建込んで
ください。

(2) Fガラス枠カバーの取付け



- ①後付けビードをFガラス枠に取付けて
ください。
- ②Fガラス枠カバーをFガラス枠にはめて
ください。

ポイント

- Fガラス枠カバーには3種類あり、
取付け箇所が決まっています。
(※1～※3参照)
- Fガラス枠カバーがはめにくい場
合は、当て木をしてハンマーで叩
き込んでください。

11. (つづき)

11-4 インターホンの取付け ※内蔵型の場合

ポイント

●取付けるインターホンの種類によって取付け方法が異なりますので、ご注意ください。

(1) パナソニック(株)製 VL-V566、VL-V570L-S、VL-V522L-S、VL-V522L-WSの場合

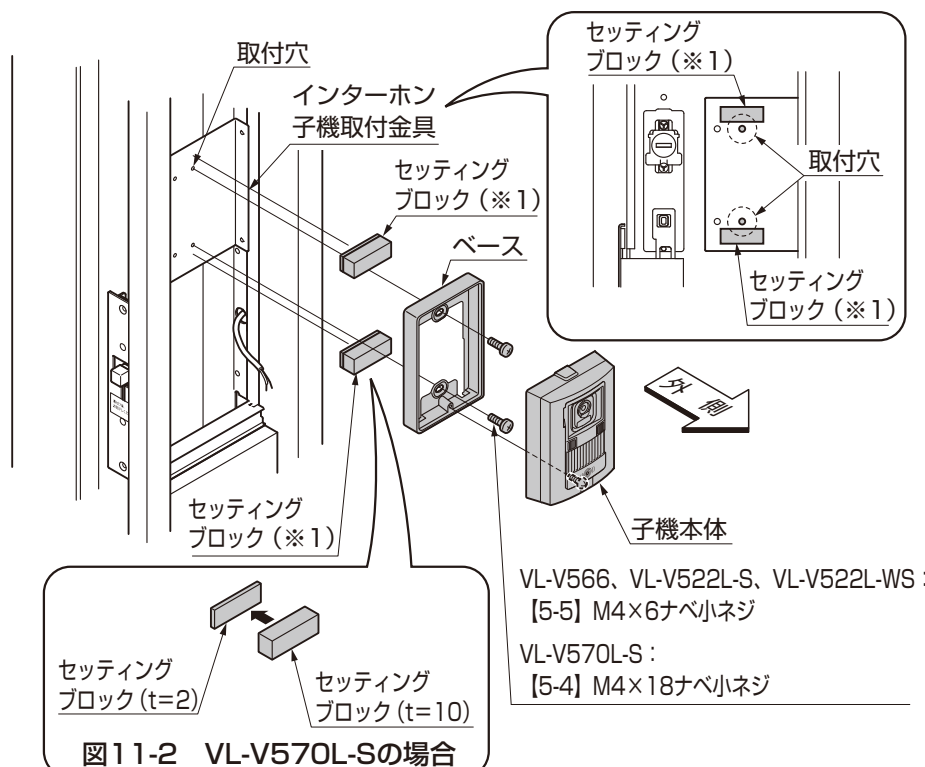


図11-2 VL-V570L-Sの場合

(2) アイホン(株)製 WF-DA、JH-DAの場合

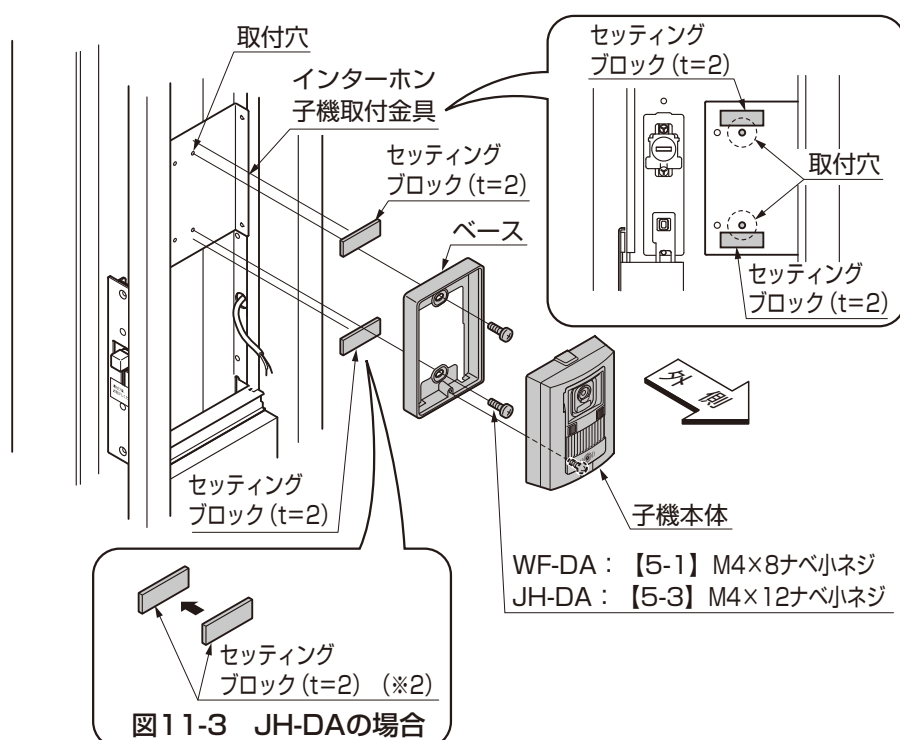


図11-3 JH-DAの場合

ポイント

- VL-V566、VL-V522L-S、VL-V522L-WSを取付ける場合は、セッティングブロックの取付けは不要です。
- VL-V570L-Sを取付ける場合はセッティングブロックをインターホン子機取付金具に取付けてください。（※1）

- ①ベースをインターホン子機取付金具に【5-4】または【5-5】で取付けてください。
- ②子機本体とインターホン用の配線を接続し、子機本体をベースに本体取付ネジで取付けてください。

ポイント

- ①セッティングブロックをインターホン子機取付金具に取付けてください。

- WF-DAを取付ける場合は、セッティングブロックを1枚ずつ取付けてください。
- JH-DAを取付ける場合はセッティングブロックを重ね貼りして、インターホン子機取付金具に取付けてください。(※2)

- ②ベースをインターホン子機取付金具に【5-1】または【5-3】で取付てください。
- ③子機本体とインターホン用の配線を接続し、子機本体をベースに本体取付ネジで取付けてください。

11-5 サインの取付け

(1) ファンクションパネルの穴加工

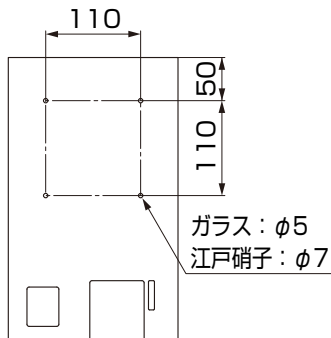


図11-4
ガラス・江戸硝子

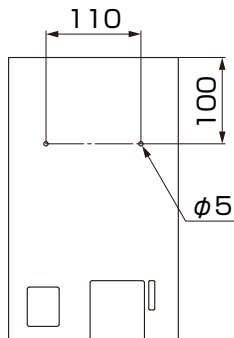


図11-5
鋳物

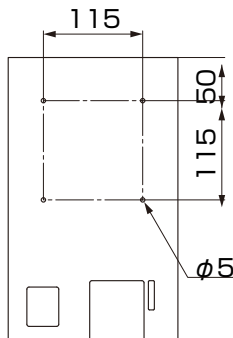
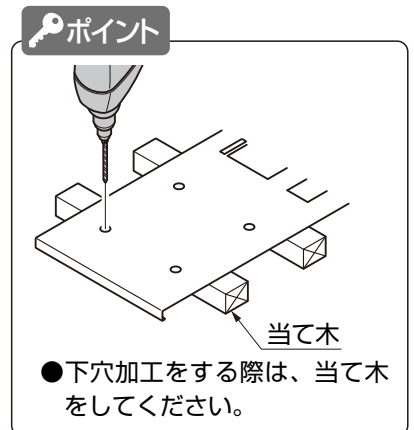
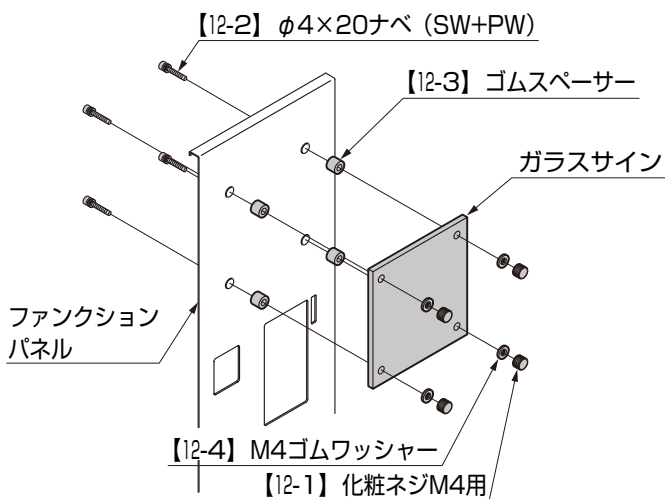


図11-6
備前焼



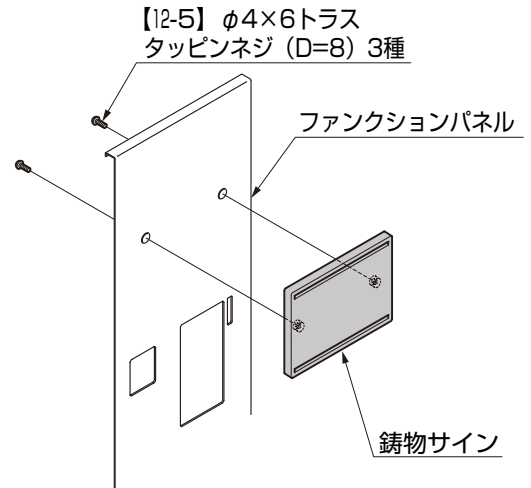
①ファンクションパネルにφ5（江戸硝子のみφ7）の穴加工をしてください。

(2) ガラスサインの取付け



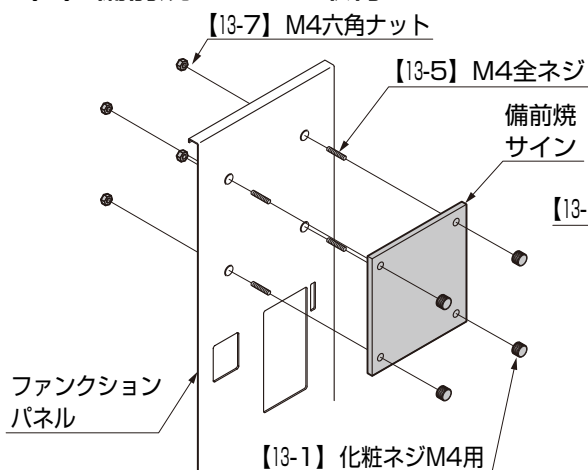
①ガラスサインをファンクションパネルに【12-1】、【12-2】、【12-3】、【12-4】で取付けてください。

(3) 鋳物サインの取付け



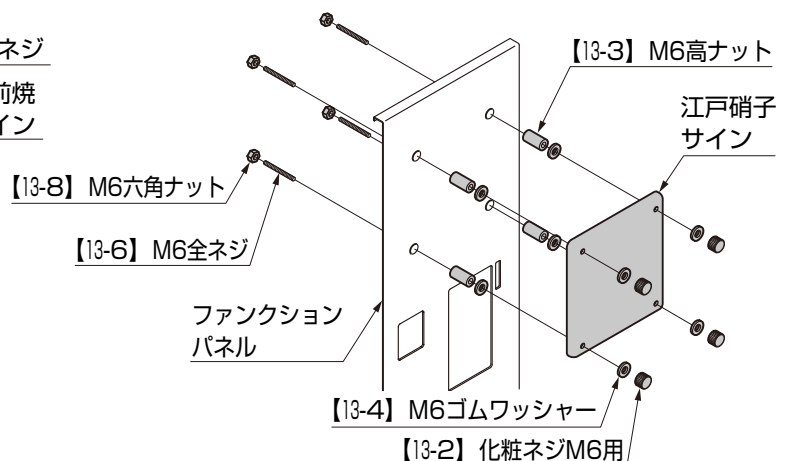
①鋳物サインをファンクションパネルに【12-5】で取付けてください。

(4) 備前焼サインの取付け



①備前焼サインをファンクションパネルに【13-1】、【13-5】、【13-7】で取付けてください。

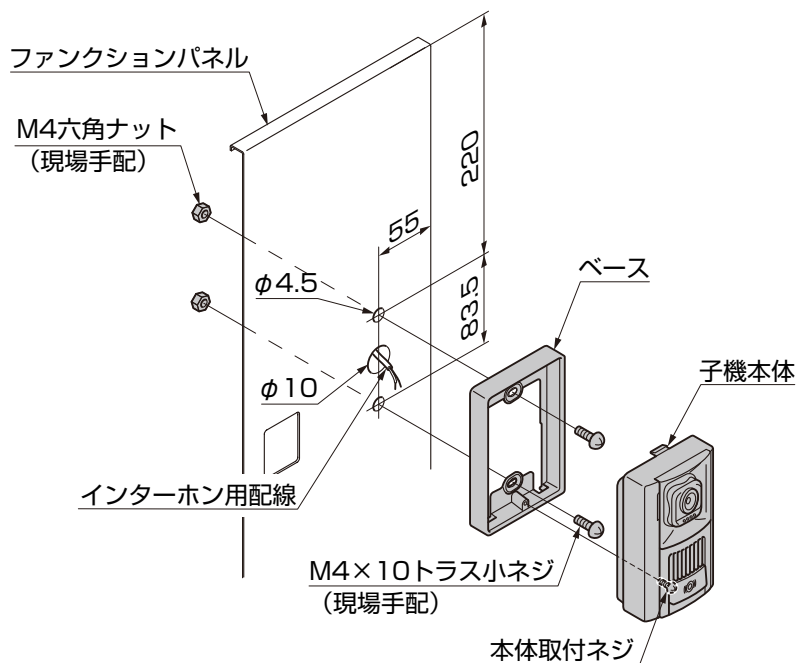
(5) 江戸硝子サインの取付け



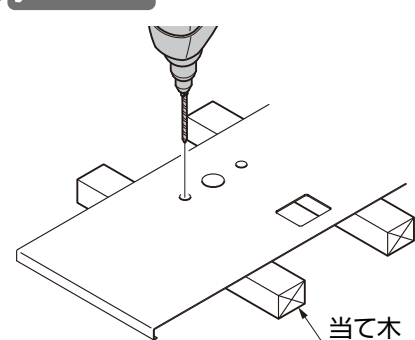
①江戸硝子サインをファンクションパネルに【13-2】、【13-3】、【13-4】、【13-6】、【13-8】で取付けてください。

11. (つづき)

11-6 インターホンの取付け ※面付型の場合



ポイント



●下穴加工をする際は、当て木をしてください。

- ① ファンクションパネルに穴加工をしてください。
- ② ベースをファンクションパネルに「M4×10トラス小ネジ」、「M4六角ナット」で取付けてください。
- ③ 子機本体の取付けおよび配線の子機本体の取付説明書を参照して行なってください。

11-7 ファンクション補強材の取付け ※図はインターホン内蔵の場合を示します。

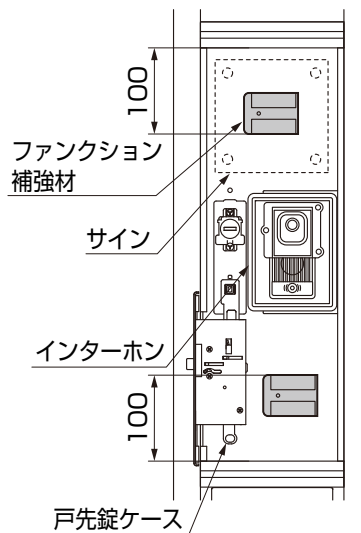
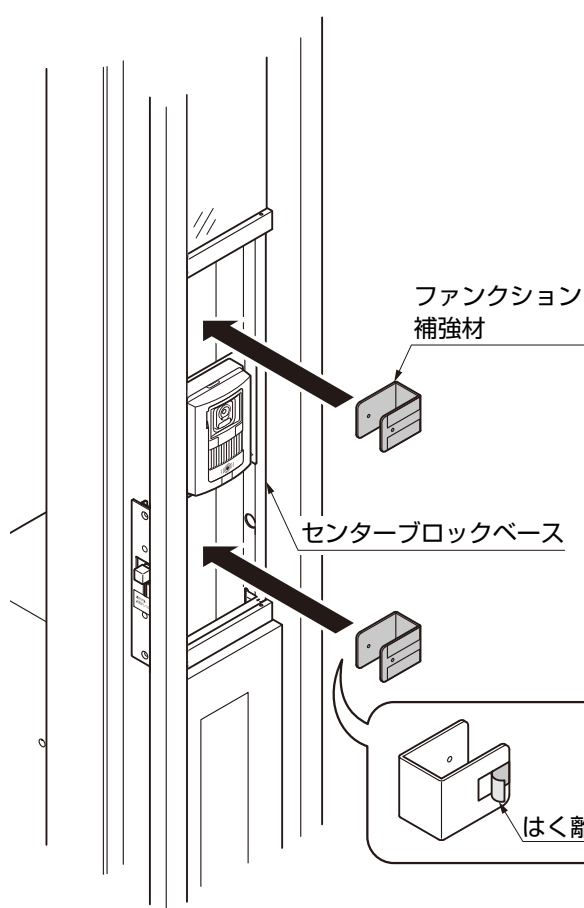


図11-7 内蔵型の場合

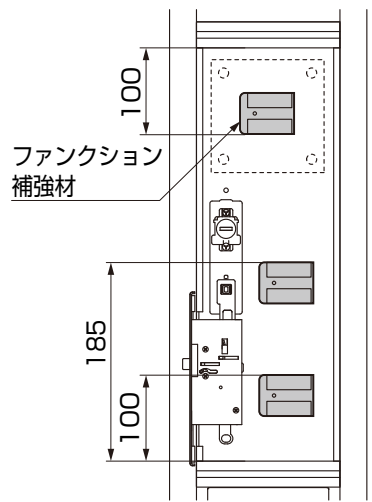


図11-8 面付型の場合

- ① ファンクション補強材の両面シール (1枚ついている側) をはがし、センターブロックベースに取付けてください。

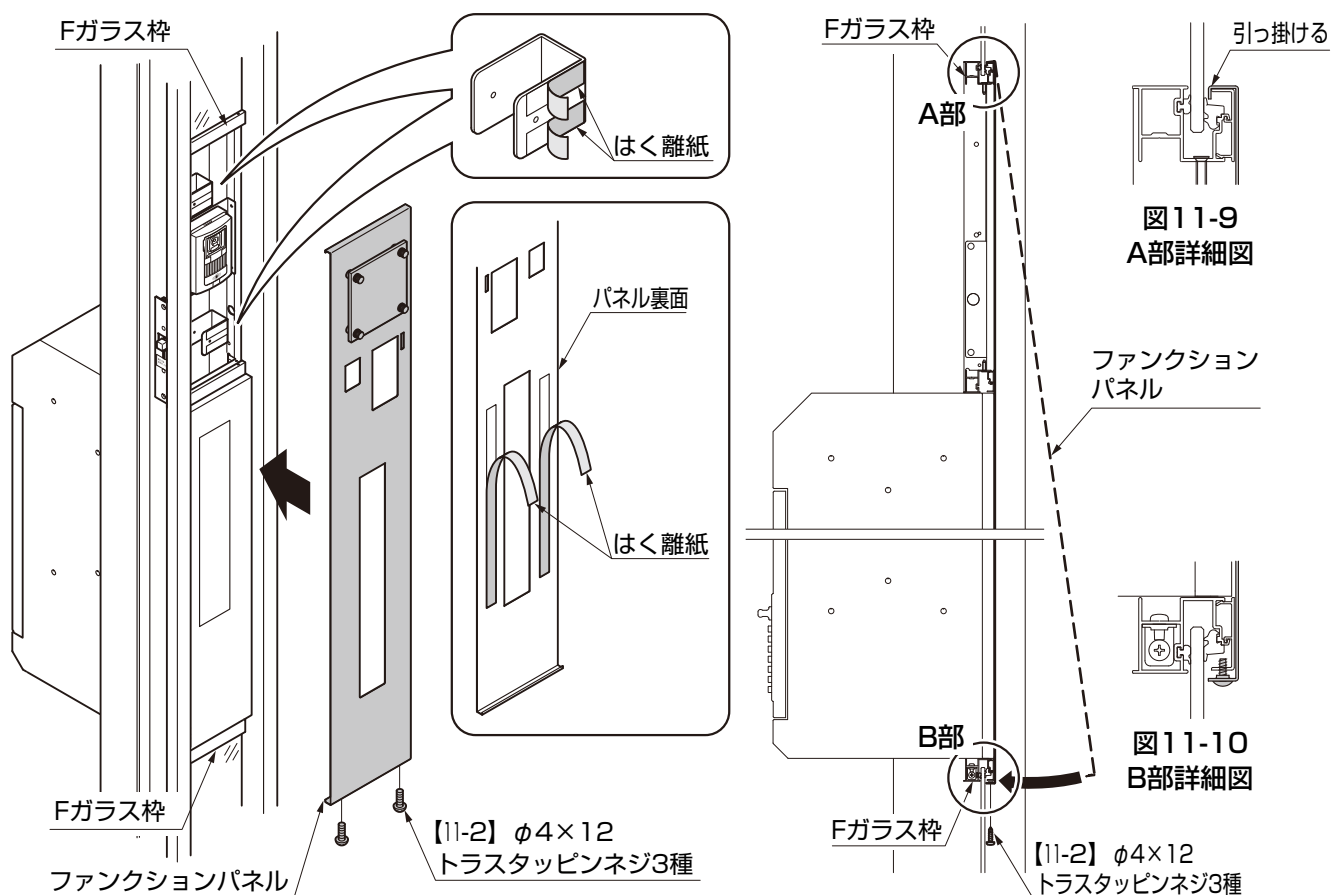
ポイント

- ファンクション補強材はサイン、インターホン、戸先錠ケースに干渉しない位置に取付けてください。
- インターホン面付型の場合は、ファンクション補強材を3つ使用してください。(図11-8参照)

11-8 ファンクションパネルの取付け ※図はインターホン内蔵の場合を示します。

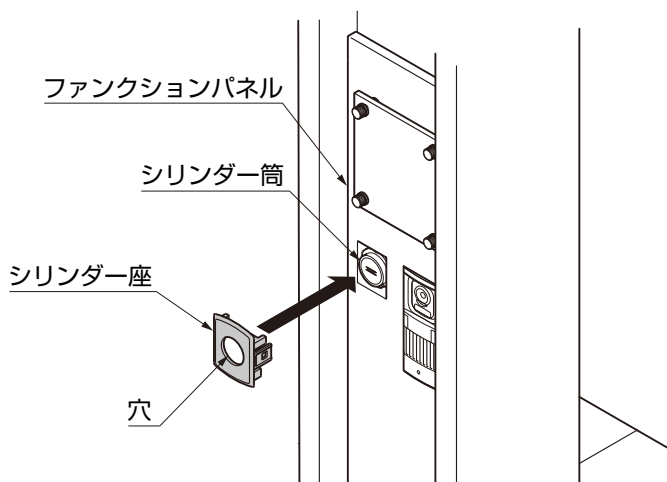
ポイント

- サインの取付けやインターホンのカメラの調整を終えてから、ファンクション補強材とファンクションパネルの両面テープのはく離紙をはがしてください。



- ① ファンクション補強材とファンクションパネル裏面のはく離紙をはがしてください。
- ② ファンクションパネルをFガラス枠に【11-2】で取付けてください。

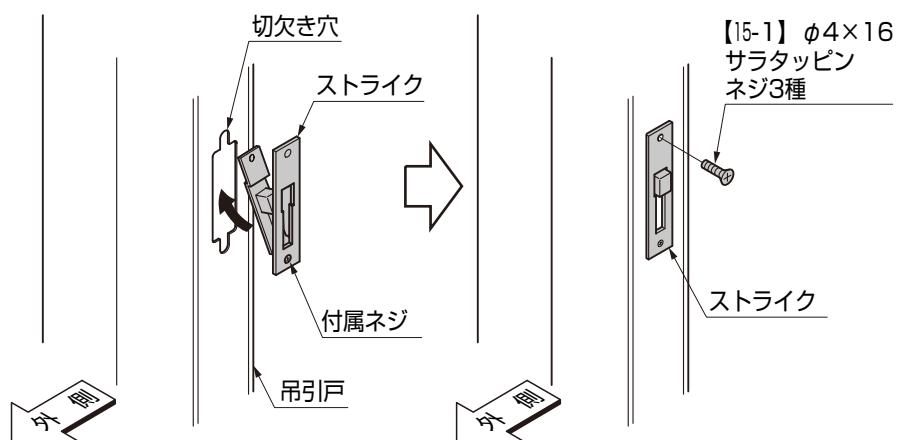
11-9 シリンダー座の取付け



- ① シリンダー座の穴を戸先内外錠ユニットのシリンダー筒と合わせて、ファンクションパネルにはめ込んでください。

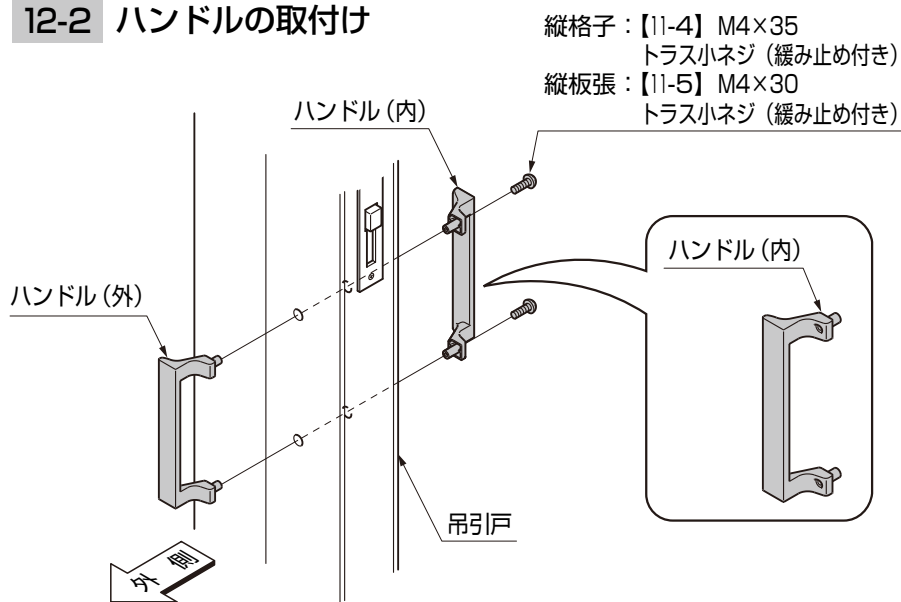
12. 吊引戸への部品の取付け

12-1 ストライクの取付け



- ① ストライクの付属のネジを緩めて、吊引戸の切欠き穴に差込んでください。
- ② 緩めたネジと【15-1】で引込んで、ストライクを固定してください。

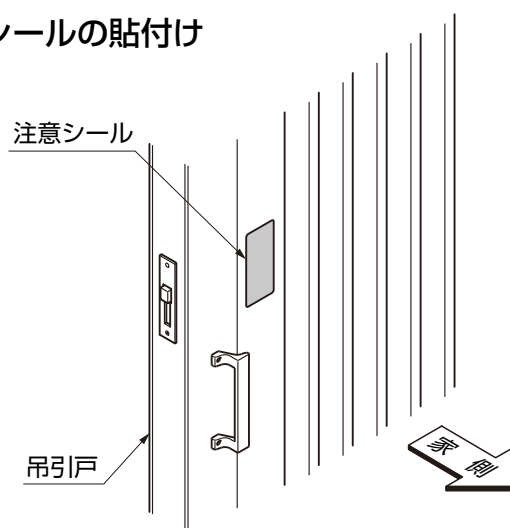
12-2 ハンドルの取付け



- ① ハンドルを吊引戸に【11-4】、または【11-5】で取付けてください。

13. 仕上げ

13-1 注意シールの貼付け



- ① 注意シールをハンドル(内)の上部など見えやすい位置に貼付けてください。

ポイント

- 注意シールは、ユーザー様が安全に使用していただくため、必ず貼付けてください。

14. 指入れ防止パネルの取付け **オプション** ※吊引戸 縦格子の場合のみ

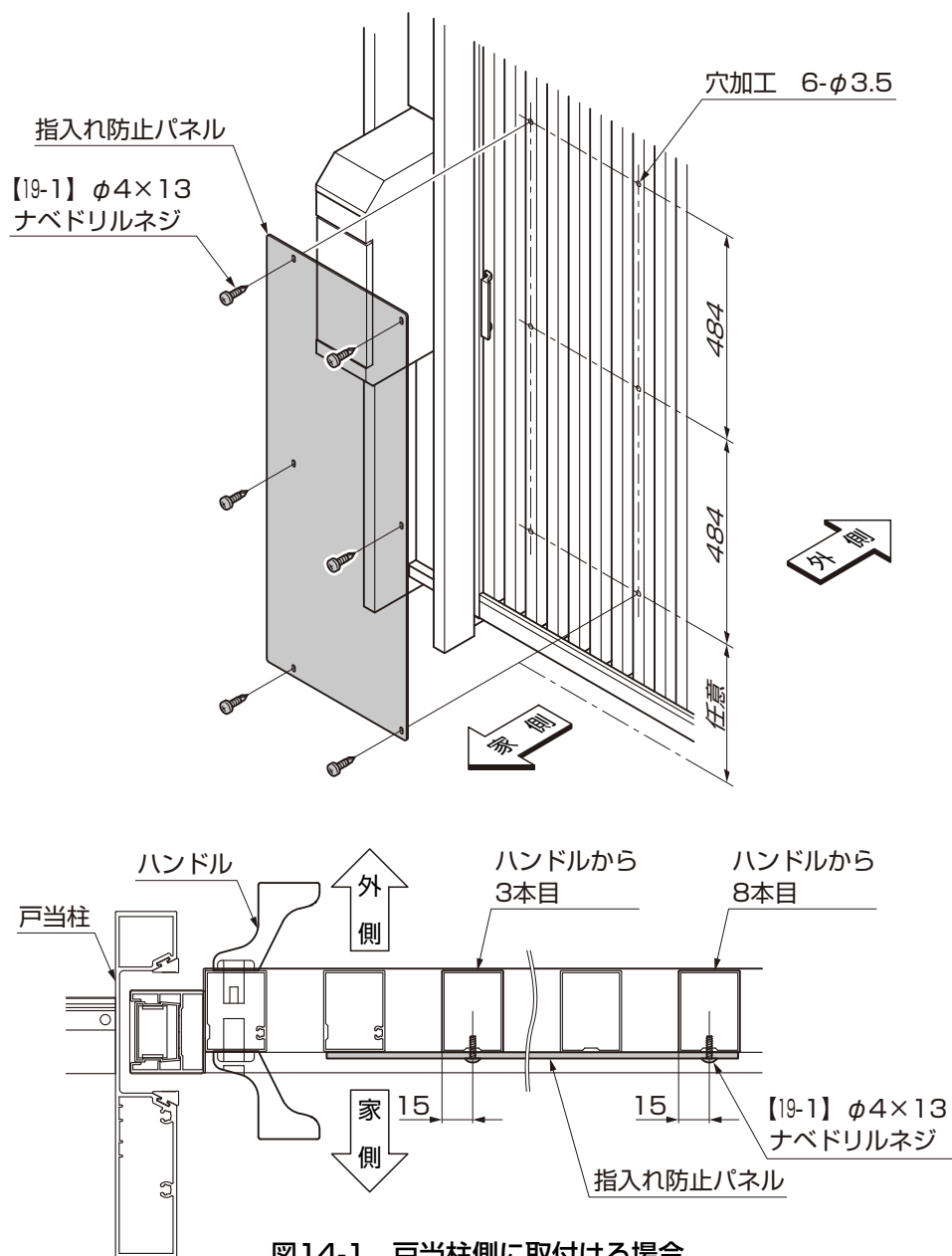


図14-1 戸当柱側に取付ける場合

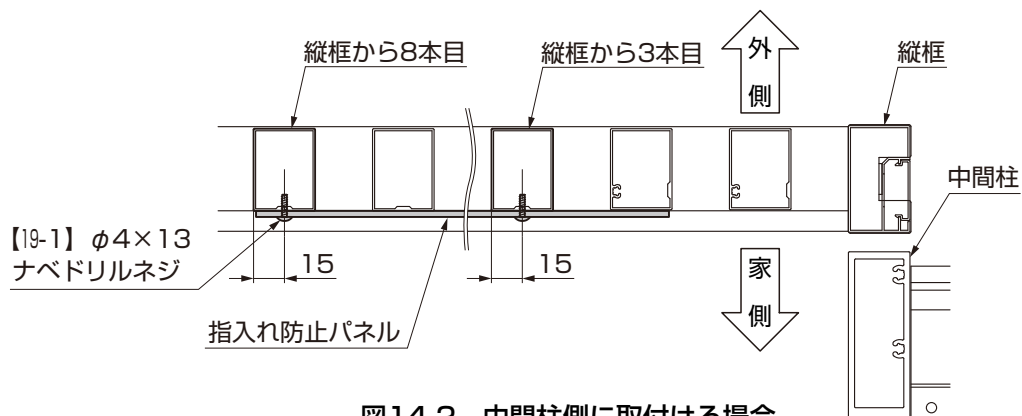


図14-2 中間柱側に取付ける場合

- ①吊引戸にφ3.5の穴加工をしてください。
- ②指入れ防止パネルを吊引戸に【19-1】で取付けてください。

15. 落とし棒の取付け **オプション** ※図は吊引戸 縦格子の場合を示します。吊引戸 縦板張も同様です。

15-1 下穴加工

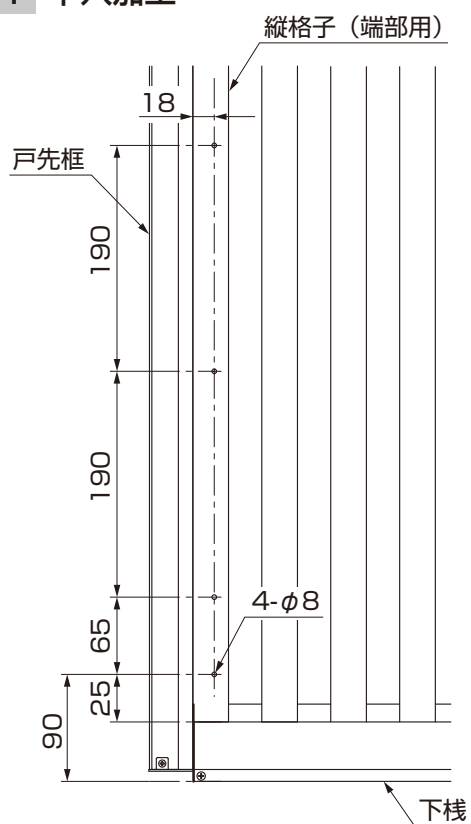


図15-1 縦格子の場合

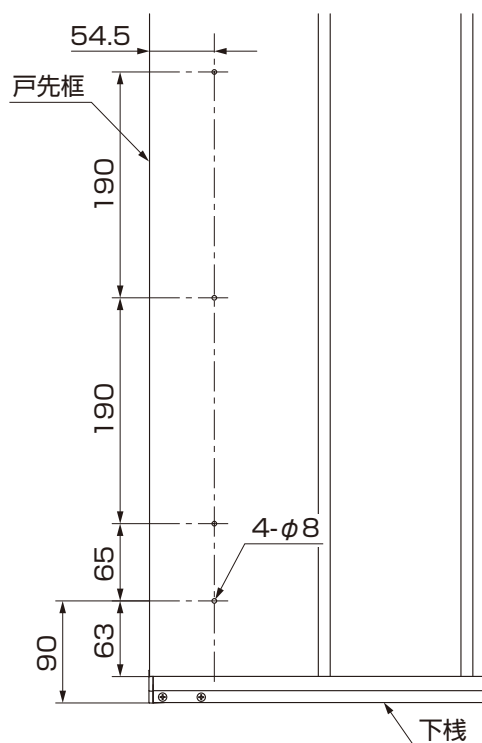
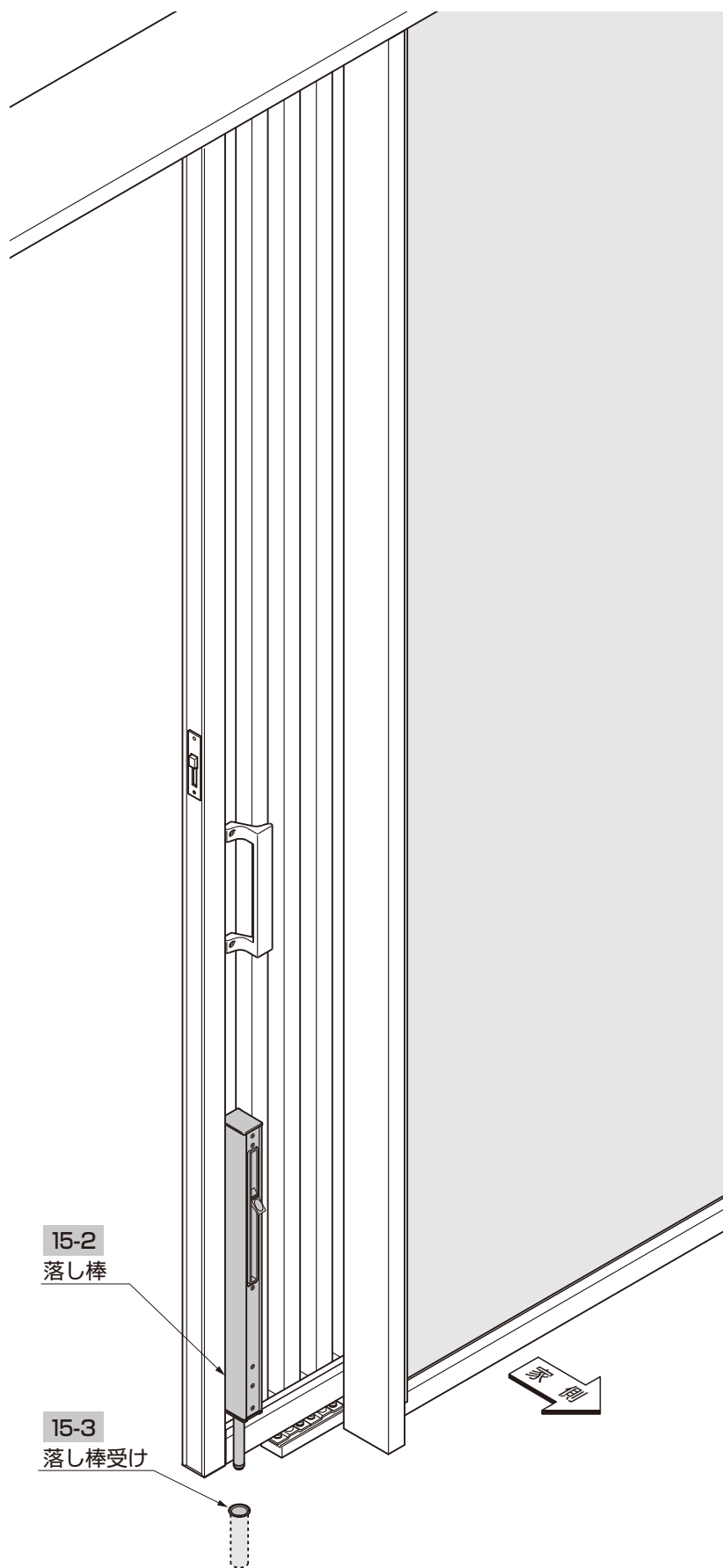
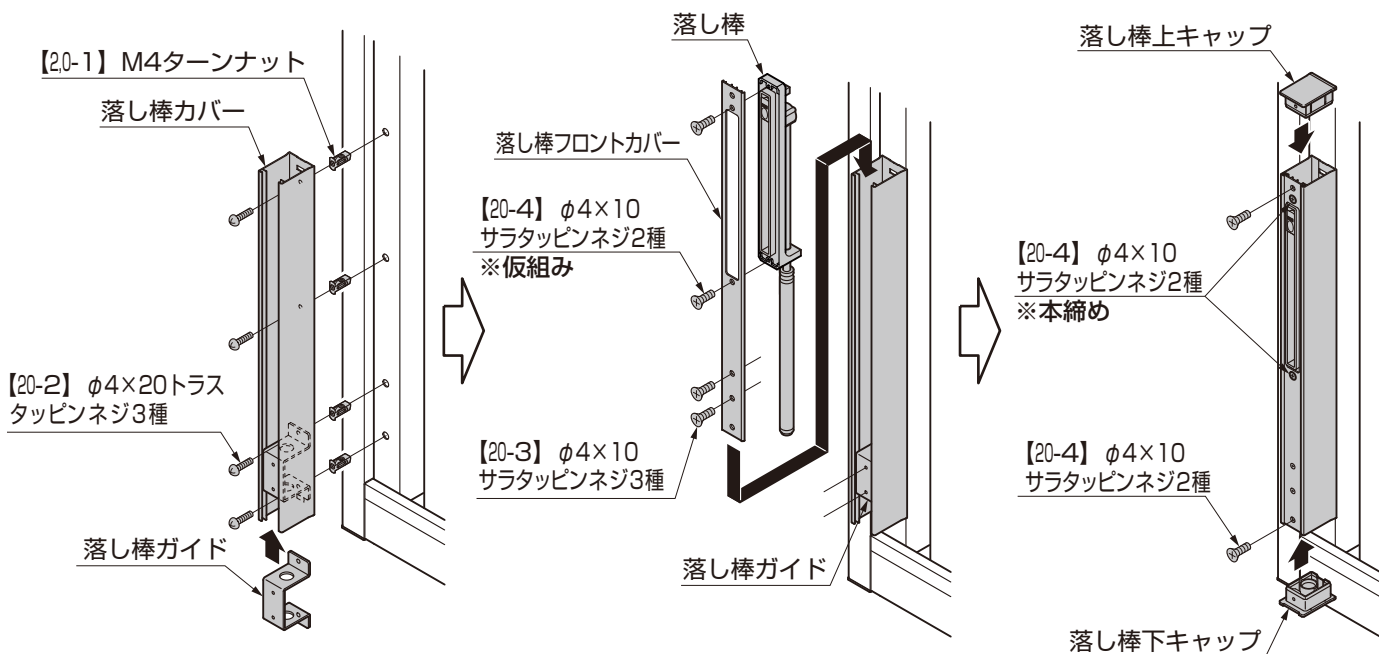


図15-2 縦板張の場合

①吊引戸の家側にφ8穴を4箇所加工してください。

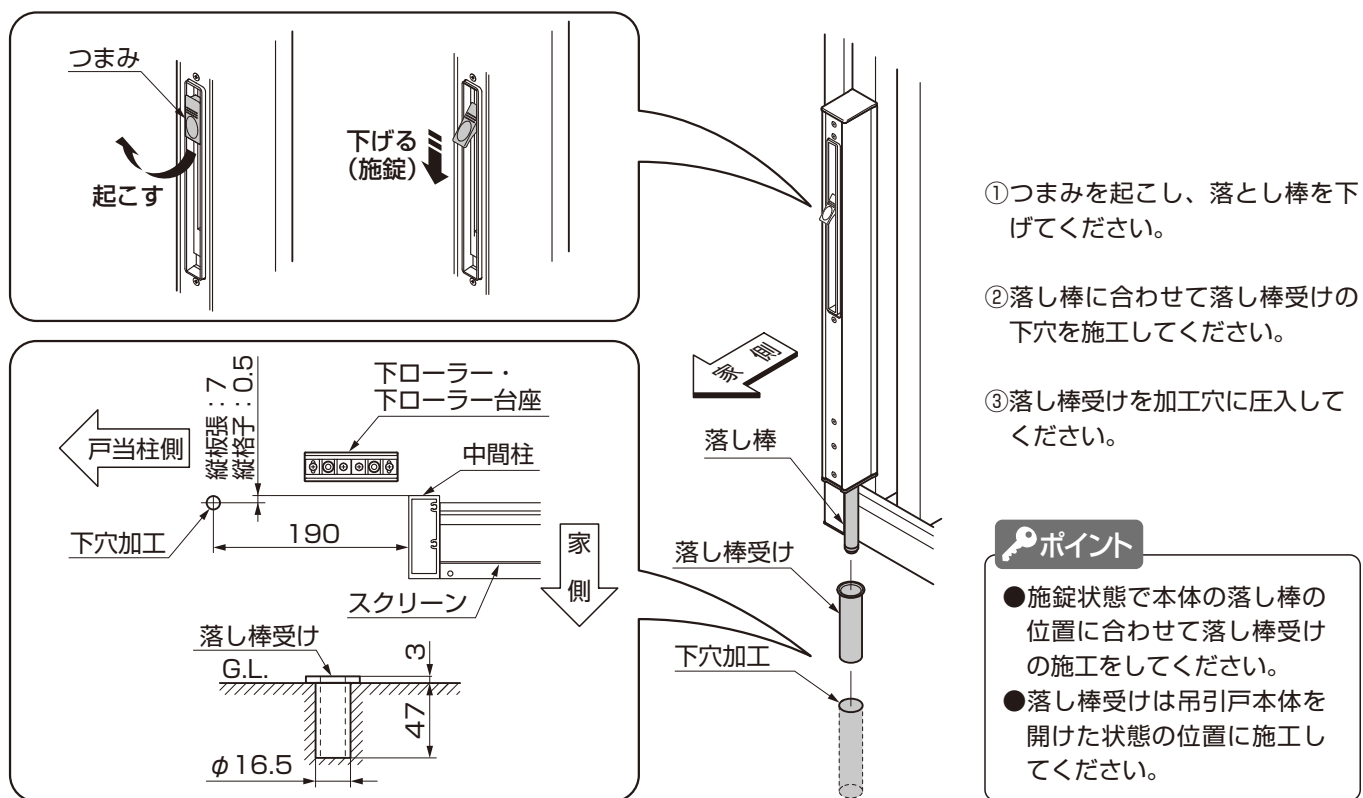


15-2 落とし棒の取付け



- ① 【20-1】を加工穴に差込んでください。
- ② 落とし棒カバー、落とし棒ガイドを吊引戸に【20-2】で取付けてください。
- ③ 落とし棒と落とし棒フロントカバーを【20-4】で仮組みしてください。
- ④ 落とし棒を落とし棒カバーに差込み、落とし棒ガイドに【20-3】で取付けてください。
- ⑤ 仮組みしていた落とし棒と落とし棒フロントカバーを本締めしてください。
- ⑥ 落とし棒キャップを落とし棒カバーに【20-4】で取付けてください。

15-3 落とし棒受けの施工



16. 動作確認

16-1 吊引戸の作動確認

①ハンドルに手を掛けて吊引戸を動かしてください。

確認	点検	処置
作動時に吊引戸が著しく重くありませんか	上レールのローラー走行部分にアルミの切り粉やゴミなどはありませんか	上レールのローラー走行部分を清掃してください。
	引戸の下棧のレール部分にモルタルや石、ゴミなどはありませんか	引戸の下棧のレール部分を清掃してください。
	下ローラーの調整はしましたか	下ローラーの調整をしてください。
扉が勝手に開いてしまいませんか	戸先錠の施錠をしていますか	戸先錠の施錠をしてください。
	減速部品の調整はしましたか	減速部品の調整をしてください。

16-2 錠の作動確認

①吊引戸の戸先框を戸当柱にきちんと納めてください。

確認	点検	処置
ツマミをスライドして施錠・解錠が出来ますか	ツマミの短冊は取除きましたか	施工後は不要ですので取除いてください。
	取付封印シールは取除きましたか	施工後は不要ですので取除いてください。
	ストライクの取付け方法に誤りはありませんか	上下の向きに注意して正しく取付けてください。
	戸先框と戸当柱の戸当部分のセンター位置は合っていますか	センターが合うように下ローラーの調整をしてください。

取説コード

B074

JZZ625133C
201302A_1039
201703D_1039